

# 令和2年度 第5回加西市総合政策審議会

## 次 第

日時：令和2年9月28日（月）午前9時30分～  
場所：加西市健康福祉会館（ラヴィかさい）1階大会議室（ホール）

### 開 会

1 会長あいさつ

2 委員等出席者の紹介

3 議 事

(1) 第4回加西市総合政策審議会の意見・提案等に対する対応 …【資料1】  
【資料2】

(2) 部会による基本計画（基本方針1・2・3）の検討 …【資料3】  
【資料4】

4 その他

### 閉 会

#### 【次回開催予定】

令和2年度 第6回加西市総合政策審議会

日時：令和2年11月5日（木）14:00～

場所：加西市役所 1階多目的ホール

令和2年度 第5回加西市総合政策審議会 出席者名簿

氏名	団体名等	役職	備考
上田尾 真	神戸新聞社	北播総局長	(欠席)
大野 聖佳	NPO 法人ねひめカレッジ (加西市国際交流協会)	ジェネラルリーダー	
岡 和司	加西市連合 PTA	副会長	(欠席)
岸本 達希	加西市立幼稚園・こども園 PTA 連絡協議会	会長	(欠席)
木下 勇	加西市区長会	富田地区代表区長	
久米澤 稔	加西市労働者福祉協議会	事務局長	
後藤 直樹	加西空き家対策専門家協議会 (え〜がい加西)	代表	
杉山 武志	兵庫県立大学環境人間学部	准教授	
高見 千里	女性農業者	代表	
谷勝 公代	加西市連合婦人会	会長	
辻田 聡信	加西市地域おこし協力隊	隊員	
中野 重美	加西市スポーツ推進委員会	副委員長	
仁科 崇良	北条金融協会	会長	
濱本 泰秀	加西商工会議所	会頭	
松岡 勝己	加西市老人クラブ連合会	会長	

■事務局

氏名	所属・役職名
千石 剛	ふるさと創造部長
藤後 靖	ふるさと創造部人口増政策課長
後藤 伸嘉	ふるさと創造部人口増政策課 課長補佐
森山 俊幸	ふるさと創造部人口増政策課 係長
岩野 裕之	ふるさと創造部人口増政策課 係長
大西 弘晃	ふるさと創造部人口増政策課 主事
小山 映	ふるさと創造部人口増政策課 まちづくり推進員



# 政策 11 協創のまちづくりの推進

政策に関する社会動向や前提条件を記載していません。

人口減少と少子高齢化が急速に進むなか、まちづくりを進めていくにあたっては、行政と住民等による協創が不可欠となっています。近年は、地域共生社会<sup>1</sup>という言葉に代表されるように、年齢や性別等にとらわれない、あらゆる主体が自分らしく活躍できる社会の仕組みづくりに加え、市内・市外問わず「このまちが大好きだ」という思いを持つ人々によってまちづくりを応援していく関係人口<sup>2</sup>の創出も重要となっています。

## 加西市のこれまでの取り組みと課題

### ▶ 「加西市協創のまちづくり条例」の制定

多くの地域課題の解決やこれからの持続可能なまちづくりに向けて、「加西市ふるさと創造条例」を全面改正して「加西市協創のまちづくり条例」を令和2年1月に施行しました。ふるさと創造会議を中心に市内在住の方々との協働の仕組みを構築していますが、人口減少が進むなかでも継続して活発なまちづくりを進めていくために、年齢や性別、住む場所などの枠にとらわれず、様々な人と一緒にまちづくりを推進していくことが重要となっています。

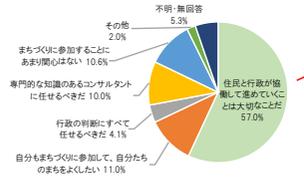
### ▶ シティプロモーション「イーナカサイ」の推進

市制50周年をきっかけとして、平成28年度よりまちの魅力を発信するシティプロモーション<sup>3</sup>「イーナカサイ」を実施しており、まちの魅力を発掘や市内外へのPRを総合的に推進しています。令和元年度には、ふるさと納税寄付額が20億円を超えるなど、本市の特産品の魅力が確認されましたが、今後は、加西市に行ってみよう、関わってみようと思う「まちのファン」を増やすため、まちの魅力PRの強化が必要です。

### ▶ 広報かさい等による情報提供

毎月、各種行政情報やまちの話題などを掲載した行政情報紙「広報かさい」を発行するとともに、電子書籍化して10か国語で配信するなど、より多くの方々へ情報が行き届く環境づくりに取り組んでいます。情報を共有しながら、今後はより多くの方々へまちづくりに参加していただくことが非常に大切であることから、信頼される市政を展開するための、開かれた行政の推進が求められます。

【住民参画によるまちづくりについての意向】



取組と課題を一体的に記載する表現方法に変更しています。課題部分は太字で強調しています。

昨年度実施したアンケート調査より、関連する調査結果を掲載しています。

## 市民の声から



- 外から来た人のほうが、地元の良さは分かるもの。外から見て気付く、加西のあぶり出しは必要で、市外の方の目線は参考になる
- 興味のない人をどうやって巻き込むかは、本当に難しい。welcome な空気の作り方がキーになると思う
- 高齢者と若者のイベントで、温度差をなくし、スムーズにうちとけあってできたらと思う

専門用語には注釈を追加しています。

1 地域共生社会：支える側・支えられる側の区別なく、すべての人々が役割を持ち活躍できる社会、あるいはその考え方のこと。  
 2 関係人口：住んでいる場所に関わらず、何らかの形でまちと関わり、まちづくりを応援する人々の総称のこと。  
 3 シティプロモーション：移住・定住や観光振興等を目的として、まちの魅力を内外にアピールする一連の事業のこと。



加西に関わる誰もが主役となって活躍し、元気にぎわいあるまちをめざします。

SDGsアイコンを上部に移動させています

## 主な施策

### ③ 協創のまちづくり

- ア 小規模多機能自治機能<sup>4</sup>の発展に向け、ふるさと創造会議（まちづくり協議会）の活動支援に取り組みます。
- イ 市民参画によるまちづくりを進めるため、NPO法人・地域活動家の育成を図ります。
- ウ 都市部との交流と都市部人材の受入体制整備による関係人口の増加に取り組みます。

書式変更：下線  
 削除：さらなる強化を図るため、  
 書式変更：上付き  
 削除：住民

### ③ シティプロモーションの推進

- ア シビックプライド<sup>5</sup>の醸成を図り、シティプロモーションを推進します。
- イ 近隣自治体等との連携による情報発信体制の強化や、魅力的なふるさと納税返礼品の充実などにより、まちの魅力を積極的にPRしていきます。
- ウ 特産品のブランド化を進め、販売チャネルを増やすなどの販売促進に努めます。また、SNSに加えて、観光事業者への地域資源の周知、まちの魅力の発掘などを図り、誘客につながるような魅力を情報発信します。

書式変更：下線  
 書式変更：上付き  
 削除：を通じて  
 削除：イベントや販売所へ出展するなど  
 削除：ツーリズムによる  
 削除：PR  
 削除：通じ  
 削除：て  
 削除：市内外に

### ③ 広報・広聴の充実

- ア 親しみやすく読みやすい広報紙を全市民に配布し、各種施策やサービス・制度の周知を図るとともに、報道機関へのプレスリリースを積極的に進め、情報発信の充実に努めます。
- イ ホームページやSNSなどの媒体を活用し、必要な情報をタイムリーに提供できる体制を強化します。
- ウ 様々な手段や機会を通じて住民のニーズを把握するとともに、住民から寄せられる提案や要望、意見に対する回答について、適切かつ迅速な対応を行います。

## 未来の姿を実現するため、各主体に期待する役割

市民ができること	団体・事業者ができること
○市政に関する情報を収集し、意見の発信やイベントへの参加等を通じて、積極的にまちづくりに関わりを持つようにする	○市民や地域と協創する活動に取り組み、積極的にまちづくりに協力する

削除：取り組み  
 削除：取り組み

## まちづくりの指標

関係人口		
現状値(R元)	中間値(R7)	目標値(R12)
●●人	●●人	●●人

## 関連する計画・条例

- 加西市協創のまちづくり条例
- 加西市シティプロモーションビジョン

4 小規模多機能自治：概ね小学校区域において、住民の積極的な参画・協働によって様々な機能を持つ自治の仕組みのこと。  
 5 シビックプライド：自分の暮らすまちや地域に愛着を持ち、自分自身が関わって地域を良くしていくとする意識のこと。



政策 12

お互いを認め合える社会の実現

政策に関する社会動向や前提条件を記載していません。

国際化が進む社会情勢の中で、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人等をめぐる人権については、多くの課題がみられます。また、近年はLGBTQ+<sup>1</sup>など、多様な性の在り方についても注目されています。国籍や人種の違い、偏見や差別意識など、さまざまな問題について人権の視点から取り組むことが求められます。

加西市のこれまでの取り組みと課題

▶ 総合的な人権教育及び啓発の推進

平成 20 年に策定した「加西市人権教育及び啓発に関する推進指針」に基づき、総合的に人権教育及び啓発を進め、兵庫県では毎年8月を「人権文化をすすめる県民運動」とし、市でも「人権文化をすすめる市民のつどい」を開催、人権文化に関する講演会などを行ってきました。今後も引き続き、**人権や性に対する意識啓発を行うことで、差別意識をなくしていくことが重要**となっています。

▶ 男女共同について意識する機会の提供

加西市地域交流センター内に「加西市男女共同参画センター」を設置し、男女共同について考えるイベント・講座や、身の回りの気になる事について女性目線で語り合う場「女子カフェ」を開催しています。**社会における女性活躍を推進していくために、柔軟な働き方が可能な環境づくりの意識啓発を企業等に向けて発信していくことが求められます。**

▶ 市内在住外国人への学習支援

在住外国人のための学習支援として、NPO 法人「ねひめカレッジ」が日本語教室を開室し、日本語があまり理解できない通学中の児童とその保護者や、長期休暇中の学習サポートをしています。外国人住民が年々増加するなか、ともに地域生活をしていくうえで、様々な生活習慣や文化の違いを互いに理解することが重要になることから、今後は、**相互理解のための交流機会の充実**が重要になっています。



取組と課題を一体的に記載する表現方法に変更しています。課題部分は太字で強調しています。

市民の声から



- 地域によっては女性が活躍しづらい風潮がある。そういった地域でも活動したい女性は多くいるので、行政が主体となって活動を支援してほしい。
- 外国人労働者の増加については、多文化共生の観点から、地域の理解と交流をすすめる取り組みが必要である。

グラフを差し替えています。

専門用語には注釈を追加しています。

1 LGBTQ+：性の多様性において数が少ない人である「性的マイノリティ」の総称のひとつで、レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー・クエスチョニング/クィアの頭文字と、これら以外の性の多様性を示す「+」を併せて示している。



多様な価値観やお互いを認め合い、すべての市民が協力できるまちをめざします。

SDGsアイコンを上部に移動させています

主な施策

③4 自分らしく暮らせる地域づくりの推進

- ア 家庭、学校、**職場や地域**等で様々な人権問題や多様な性の在り方に関する教育や啓発を進め、お互いを認め合い、差別を許さないまちづくりを推進します。
- イ 家庭や学校、施設等における、子どもや高齢者等に対する虐待の防止、**DV<sup>2</sup>被害者への支援**に取り組みます。
- ウ 孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う取り組みを推進します。

削除：や  
削除：地域  
削除：職場  
削除：、あらゆる場と機会を通じて、  
書式変更：下線  
書式変更：上付き

③5 男女共同参画の推進

- ア 行政や自治会などまちづくりの分野において、女性が自分らしく活躍できるよう、学校や地域、各機関等に対する啓発や情報提供などを**行い**、女性が参加しやすい環境づくりに取り組みます。
- イ 女性の雇用促進のため、ハローワークとの連携による就労に関する情報の提供や各種講座を開催するとともに、企業への啓発に取り組みます。

削除：通じて

③6 多文化共生と平和のまちの実現

- ア 在住外国人にとっても暮らしやすいまちとなるよう、学習支援や生活情報の多言語化を進めるとともに、NPO法人への支援と連携による**市民レベルでの交流活性化**を図ります。
- イ 外国人との多文化共生を目指すための拠点施設の整備に取り組みます。
- ウ 鶴野飛行場跡地などの地域資源を活用した**平和ツーリズム<sup>3</sup>**を展開し、平和について学び、体験できる機会の提供を進めていきます。

削除：を通じた  
書式変更：下線  
書式変更：上付き

未来の姿を実現するため、各主体に期待する役割

市民ができること	団体・事業者ができること
○外国人住民と積極的に関わりを持つ	○外国人労働者の、地域への理解と交流を進める取り組みをする

削除：取り組むこと  
削除：取り組むこと

まちづくりの指標

共生社会に関する研修の参加者数		
現状値(R元)	中間値(R7)	目標値(R12)
●●●人	●●●人	●●●人

関連する計画・条例

- 加西市人権教育及び啓発に関する推進指針
- かさい男女共同参画ゆめプラン
- 加西市DV対策基本計画

削除：NPO法人の活動による参加人数

2 DV：ドメスティック・バイオレンスの略称で、主に夫婦間やパートナー間での暴力のことを指す。  
3 平和ツーリズム：平和関連施設などを巡ることで、平和とは何かを考え、思いを巡らせ、世界の人々がその思いを共有することを目的とした観光旅行や体験旅行のこと。



## 加西市総合政策審議会の意見・提案等への対応

## 基本構想に関すること

区分	発言者	意見・提案等	反映内容	反映箇所
基本理念・将来都市像	副会長	加西市が力を入れているものが端的に示されるべきだが、柱になるものとしては、空という言葉より、もっと生活感が感じられるものがよい。西脇の播州織物にからめた将来像は分かり易いので、もうひとひねりできないか。	計画の基本理念と将来都市像については、背景や考え方を説明したページを新たに追加しました。さらに説明コメントの下に「大空に夢がふくらむ」というフレーズがイメージしやすくなるよう、加西市の地域資源である気球の写真を追加しています。	基本構想 p 36 p 37
	副会長	将来都市像は、未来のイメージを形づくるものである。密ではない田舎ならではのメリットを活かせるものになりたい。幹となる将来のイメージをしっかり示していただきたい。		
	委員	気球はあまり馴染がなく、紐づけていくのであれば、教育の中でもかかわりが持てるようにすべきである。		
	会長	もう一度検討してみる値打ちはあり、観光の位置づけあるいは新しい生活と関係づけるのも考えられる。		
	副会長	基本理念の説明に出てくる、「加西市に関わる人を巻き込んだ」という表現は何か上から目線であり、協創の考えの基本にある、共に創る、一緒に進める対等な関係ではない感じがするので改めた方がよい。	イコールパートナーシップということで、対等の関係の表現となるよう「加西市に関わるすべてのひとと一緒に」に改めました。	
	委員	よく言われている、きょうそう（共創）は「協創」という字を使っている。地域ではこの条例のことを知らない人がいるので、さらに周知が必要である。	ともに協働しながら創っていく意で、加西市の条例では「協創」としていますが、継続して PR に努めます。	
	会長	将来都市像の説明の中に「4市」とあるが、少し詳しく記載したほうがわかりやすいのではないか。	海軍航空隊つながりということで加西市のほか姫路市、大分県宇佐市、鹿児島県鹿屋市の4市で、空がつなぐまち・ひとつづくり事業として平和教育等に取り組んでいますが、協議会を構成する市が分かるように説明を追加しました。	
	副会長	写真は、ピースバルーン号が写っているものがよいと思う。	ピースバルーン号の写真を加えて変更しました。	
コロナ関係	委員	ポストコロナというより、当面密を避けることが続くことが予想されるため、ずっと付き合っていく必要があるので、会社ではウイズコロナという言い方をしている。	新型コロナウイルスによる今後の影響については、主に社会潮流として表現を新たに追加しています。なお、コロナウイルスの影響を踏まえたうえでの分野別施策の方針等については、基本計画において示す予定です。	基本構想 p 2 p 11 p 12 p 14 p 15
	委員	コロナウイルス対応で、会社は車での通勤中心なのでこれまでほとんど変わらない状態だったが、人手不足の面では、自粛が続く飲食業から製造業への人員シフト現象がみられる。社会の動きの変化に対する対応が必要である。		
	会長	人口減少と新しい生活スタイルへの対応が求められている。		
SDGs	委員	SDGs の加西市としての取組を明確にすべきである。	まちづくりに関する全分野が SDGs に対応しているという認識のもと、計画のすべてが SDGs の取組とみっていますが、特に経済循環のシステムや環境と経済の両立につながる取り組みなどが重要な要素と考えています。なお、総合計画の評価手法として SDGs の指標の活用も今後検討していきます。	基本構想 p 42 p 43
土地利用	会長	都市計画審議会では都市のスポンジ化のことが議論されていたと思うが、基本構想の土地利用のところでは特にふれられていないがこれでよいか。	土地利用の方針として掲げている「現在の市街地の維持・充実」に基づいて、将来予測されるスポンジ化進行の抑制に対応していきます。	基本構想 p 47

## その他全般に関すること

番号	発言者	意見・提案等	対応等
1	委員	市民提言の4件は少ない。もっと広報をすべきではないか。	市民提言は4人からあり、提案件数そのものはもう少しありましたが、決して多いとは言いがたいので次回に向けての課題事項とします。一方、ワークショップではいろいろな意見・提案をいただいているので、こちらを中心に施策の検討を進めます。
2	副会長	総合計画の検討は、本来的には昨年度から審議会を設置すべきものであったと考える。	昨年度は元気なまちづくり市民会議(28年度に要綱設置)で、例年の検証作業の後に地域創生戦略と総合計画の検討を行いました。実質的には審議会と同様のものです。今般、任期満了を機に条例による審議会に改組のうえ、総合計画の策定だけでなく、以後の進捗も地域創生戦略と合わせ行っていく体制としております。今後は、常設組織となりますので、次回から早い段階からの審議会の審議として実現します。
3	委員	市民アンケートやワークショップ等の提案はどう反映されていくのか。審議会ではどう扱っていくのか。	総合計画の各担当部局での施策の検討にあたり、アンケートやワークショップ等の意見・提案をフィードバックし、次の施策に折り返すこととなりますので、審議会としては計画案にまとまった具体的な施策についてご審議いただくこととなります。
4	委員	多文化共生のアンケートで、あまり外国人と関わりたくない回答が多いが、その理由を分析すべきである。	市民アンケートでは、直接その理由は尋ねていませんが、外国人に対する期待や市への施策要望、また年齢別集計等から理由の分析を行ったうえで、今後の施策検討のなかで必要な対応策を検討します。
5	副会長	外国人の受け入れについては、労働者として使う側の思惑も考慮しておくべきである。外国人で補っていくのか、そのあたりも明確にする必要がある。	産業雇用の面からの多文化共生については、まずは実態把握による計画づくりを予定していますが、その後の展開策を今後の施策のなかで検討します。
6	副会長	人口推計については、社人研推計と乖離が大きいため現実路線で見直すべきである。	2060年3.6万人は、国の出生率に基づくとともに、加西市の直近の社会移動に基づく推計に、産業団地整備への企業立地による人口流入を加味したもので、現段階では妥当性を有するものと考えています。現在、4.4万人を切る人口となっており、社会減が堅調に推移するものとしても、自然減は避けられないため当面200~300人/年の減少を見込むと、10年後には4.1万人前後が見込まれます。
7	委員	会議の発言について、今までの検討に意見を出すこと、思ったことを何でも発表してもかまわないか。	様々な視点からの忌憚のないご意見を、ご自由にお願ひします。
8	委員	評価方法、評価指標については見直しが必要と考える。また対象事業は、内容的に得意な部分と不得手な部分がある。	外部評価は分かる範囲ということになりますが、外部の別な目で、率直な市民の意見をいただくことが大切だと考えています。現行計画への評価検証については、一貫性・連続性の面から昨年と同様の方法で当面は願ひします。
9	副会長	評価は、目標が妥当かが着眼点として大切であり、また単に評価するだけでなく次にどうつなげていくのか(受け継ぐ、止める等)が重要である。	評価指標・目標数値については、総合計画の改定と共に見直しを行うとともに、評価方法についても検討を加えます。
10	副会長	20年、30年を見据えた計画の議論であり、6回では不足しているため、開催回数を増やすべきである。	第7回の会議開催を追加して、12月頃にお願ひする方向で調整させていただきます。(加東市の総合計画審議会の回数並み)
11	会長	西脇の例から見ても会議回数は少ないので、増やす方向で考えるとよい。	また、各回の議論のテーマ、内容についても具体的に検討し、効率的な議論をお願ひできるように調整します。
12	副会長	会議録は要点ではなく、全文とする方がよい。	一言一句というものではありませんが、元気なまちづくり市民会議の時と同じように、発言の趣旨は漏らさないようにするとともに、発言の意図や流れをわかりやすくまとめますので、要点筆記ということをお願ひします。

## 基本計画（全般）に関すること

番号	発言者	意見・提案等	対応等
1	副会長	内容がてんこ盛りでいっぱいを感じを受けるが、取り組みのところはもう少し現状を丁寧に説明した方がよい。単にやってきたことを並べるのではなく、残されていることが浮かび上がるようにするとよい。	現状については、切り口は違うが基本構想でも加西市の状況に触れている部分がありますので、その対応関係も考慮して重複記述を避けながら、各項目で残された課題をコンパクトに提示する文面に整理しました。
2	副会長	「市民が取り組むこと」という言い方は上から目線のように感じられ、協創のイメージに合わないのではないかと。市民ができることを示すとよいのだろう。	市民等に取り組んでいただくこと等がわかりやすくなるよう、表現を工夫し、「市民ができること」「団体・事業者ができること」に改めました。
3	副会長	現状→課題→取り組むべきことの流れにすれば、読みやすいと思う。	現状や残されている課題に対して、解決策となる施策の対応が素直に理解できるように、流れを工夫しました。
4	副会長	ほとんどの現状はやっている取り組みの記述で、やった結果の説明部分がない。	取り組んできた状況説明だけでなく、その結果どうだったか概観する記述となるよう配慮しました。
5	委員	計画書は高齢者には難しい言葉が多すぎるので、中身はこれでよいと思うが高齢者にも理解できるよう表現を工夫してほしい。	文章の趣旨を損なわない範囲で、極力平易な表現や言い換えをするとともに、難しい用語には用語解説を付けるようにしました。
6	委員	もっとビジョンとして改革すべきものを打ち出すべきだと考える。現路線の延長ではなく、大きく方向性を変えるものを見せるようにすべきである。これからの10年で大きく変わっていかなければならない。	構想に掲げる持続可能なまちづくりのため、特にデジタル化、働き方の改革に力点を置いて、新しい日常に相応しい新規施策の展開が読み取れるように構成します。

## 基本計画（基本方針4 政策11）に関すること

区分	発言者	意見・提案等	対応等
挿入グラフ	副会長	挿入されているグラフはふるさと納税になっているが、協創のまちづくりの推進との関係は適当なのか。	関係人口が最近よく言われている中、ふるさとの納税はそのひとつの尺度となると考えられますが、他のものを検討した結果、市民アンケートのまちづくりへの住民参画意向結果に差し替えました。
施策①	委員	『地域活動家の育成』とあるが、市の主導なのか。市民ができることで、意見の発信はしにくいと思われるがどのような方法があるのか。	NPO や地域活動家の育成の具体的な取り組み等は、セミナーやコーディネート事業などが考えられ、一つ下のレベルで実施計画に書き込んでいくことにします。市民の意見発信は、市が広聴として承ることの他、最近では SNS 等による個人意見の発信が地域でも定着しつつあるものと考えます。
施策②	副会長	イーナカサイとは何か。シティプロモーション全体をいうイーナカサイとその事業の一つのアプリの名称もイーナカサイで分かりづらい。	PRのため、○○イーナカサイのような使い方をしているほか、市の情報提供アプリの名称にもしています。加西はいいところですよという意の「イーナカサイ」はシティプロモーションの総称であるとともに、キャッチコピーとして神戸市が使っている「BE K O B E」と同じような一種の合言葉、テーマでもあります。
	委員	加西市の外向きの取組では、ふるさと納税はもっとアピールした方がよい。市内には優良企業が多いし、高校卒業まで多くの費用を市はかけているのに、いざ税金を納める時は東京になっているのが現状である。少しお金をかけても、取り戻せるぐらいにするとよい。	東京加西会等の加西市ゆかりの人への呼びかけを継続するとともに、幅広くふるさと納税の一層の浸透を図るため、有力なふるさと納税サイトと連携した積極的な PR を展開します。
	委員	コロナの影響もあって生活や仕事など様々なことが変わっていく中で、東京から地方への流れが出てきている。関係人口を増やすため加西市への呼び込みにあたっては、例えば市民のインフラを徹底的にやるとか、コロナをチャンスと捉えて具体的にやることを示すべきではないか。	関係人口創出事業として、地方創生推進交付金を活用した都市部との交流事業などを進めているところですが、加西市に興味を抱いている人と地域の取り組みとのマッチング支援など、コロナ時代をリードしていく施策を進めます。
	会長	全体として生活スタイルが変わっていく中で、働き方が注目されているのでこの辺りを具体的に書くよと思う。	※施策②で対応 市役所では、働き方改革につながるテレワーク・WEB 会議などの取り組みを推進してところですが、市内企業等の取り組み支援も並行して加速させていくこととしています。
施策③	委員	新聞社の立場から見ると、今コロナがあつて住民は地元の情報を知りたがっているように見える。地方紙は地域の情報に力をいれているが、全国紙は地元の情報は流さない方向だと思われる。今後は SNS 等ダイレクトに伝える方法に力をいれていくことが大切で、身近な情報提供に力をいれてほしいと思う。	新聞等へのニュースリリースを継続して取り組むとともに、一層 SNS 等インターネットを活用した情報発信の活用を全庁的に行っていきます。
まちづくりの指標	会長	関係人口は、国が3年ほど前から国が言い始めているが、交流と移住・定住までの中間にあると考えられるが、まだ固まった定義はない。	関係人口は、加西市のファンになっている人のことで、ずっと住んでいるわけではないが繋がりある人で、協創のまちづくりの指標になるものです。関係人口の定義は、さらに詰めていくこととしていますが、地域で活躍しようとする人の組織等の登録者数が考えられます。
	副会長	指標としては、移住や定住数が一般的だと思われる。	市で継続して漏れなく把握できる指標としては、正味の移住・定住者の把握は容易ではないので、マッチング希望登録者数等がベースになると考えます。
	委員	関わっている空き家相談の内容からすると、相談者はファンというところからは外れるように感じている。空き家の場合、そのようなご要望からの活用もあり得ると思うが、「好き」とは少し違う角度の相談である。	空き家相談に来られる方は、ファンとは限らない方がほとんどと思われますが、供給側の空き家バンクの登録の増加も課題なので誘導とともにマッチング支援の充実を図ります。

## 基本計画（基本方針4 政策12）に関すること

区分	発言者	意見・提案等	対応等
挿入グラフ	会長	グラフが適当なのかよくわからないので、表現の仕方も含めてさらに検討が必要である。	政策の関連性を検討した結果、外国人人口及び世帯数の推移についてのグラフに差し替えました。
施策⑳	委員	学校では人権学習に取り組んでいるが、現在、休業等で家にいる機会が多い中これから取り組まないといけないDVとか虐待の継続的な支援をお願いしたい。	最近の動向に対応しながら、実施計画では具体的な事業として人権の研修や相談指導体制の強化等、配慮を加えることにします。
	会長	LGBTへの対応は入れるべきである。	自分の性を定義していない人を含めたLGBTQ+として、対応を記述することとします。
	委員	人権の差別意識は、若い人ではなく老人が問題であり、高齢者への人権教育が課題だと思う。現在の年1回の人権セミナーではまだまだ足りないので増やすことを考えないといけない。	実施計画で各自治会単位での研修など、具体の事業として機会の充実を図るための高齢者等を含めた人権セミナー等の関係を検討します。
	委員	上から目線とならないよう、本当に市民の目線に立っていただきたい。例えば、マスクはどういう時に外すのかといった、気遣いも忘れないようお願いしたい。	協創の趣旨にも合致する施策内容とするとともに、事業の実施に当たっては市民目線での気配りを忘れないように徹底します。
施策㉑	委員	外国人との接触について、コロナの関係で客室乗務員や旅行代理店など観光関係は暇な状態だが、日頃から外国人と対応に慣れているので、多文化共生の仕事に関わってもらうことを考えるとよいのではないか。	製造業中心の市内では該当するサービス業の在住人材は少ないかもしれませんが、事業の実施にあたって加西市出身者でUターン等を考えている方などの活用が考えられないか検討します。
各主体に期待する役割	委員	この計画は誰向けにつくられるのか。市民がこれを見てまちづくりに参加することが目的ではないのか。市民の取り組みのところで、外国人住民と積極的に関わりを持つとあるところはわかりにくいので、例えばあいさつ、やさしい日本語の使用など具体的にすべきである。	市民一人ひとりが、日頃から実践できることがわかるよう、あいさつ等の声掛けからの取り組みを誘導する表現としました。
まちづくりの指標	副会長	指標に関して、NPO法人の活動参加人数のところは把握しているのか。 NPO法人を支援して活動を広げていくことが本来の目的ではないのか。ちょっと違う感じがする。 人が集まる参加人数はあまりよくない。	NPO法人だけでなく任意団体も実態に即して対象に含めるとともに、活動の広がりも反映される指標とします。
	会長	NPO法人とするとハードルが高くなるので、NPO法人だけでなく団体を幅広く捉えるとよい。	

## 基本計画（基本方針4 政策13）に関すること

区分	発言者	意見・提案等	対応等
施策⑳	会長	コロナの中で働き方改革は大きな要素なので入れるべきである。人員削減はもう限界ではないか。なぜそうしていくのかという部分が読み取れるように改善が必要である。	加西市でもようやくRPAに取り組むようになりましたが、余裕が生まれた部分は市民サービスの向上に振り向けることができ、働き方改革にもつながるものとして進めていくことにしています。人員体制が極めてタイトで市の事務事業の効率化と合わせ、事業見直しに迫られている状況もふれるようにします。
	副会長	人口が減っていく中で、行政もスリムにしていく必要があるが、人員を削ってもサービスを落とさないようにするためには電子化は欠かせず、方向性を示す必要がある。	従来からの行政効率化だけでなく、いわゆる新しい生活（ニューノーマル）に対応する新規取り組みとしても、行政のデジタル化対応を明示するようにします。
	会長	部会でデータを示してもらったが、加西市の人口当たり職員数は全国的にも少ないようだが、何を削減するのは検討の余地がある。	総務省の類似団体比較では、76団体中5番目に職員は少なく、事業の削減が喫緊の課題のため、実施計画と共に新しい行財政改革プランとして示せるよう検討を進めます。
	副会長	今と同じことを続けていくことは難しい。事業を減らしていく検討が必要で、お互い身を切っていくしかないのが現状である。	基本計画を肉付けしていく実施計画で、新しい行財政改革プランに基づき具体的な事業の取り組みを明らかにしていくこととしています。
	会長	事務事業の精査とスクラップアンドビルドが必要で、職員にも夢が持てるような前向きな視点、施策が求められる。	行政サービスの削減はなかなか難しい面がありますが、コロナからの新しい生活様式対応、税収減、働き方改革の視点による新規の施策展開や事業実施のためにも、スクラップアンドビルドの事業見直しが欠かせないと考えています。
	副会長	そこは「協創」の取り組みなのだから、市民にも理解していただくところだと思う。	地域で必要とされていることに、市民と一緒にやって関係する人達と共に取り組んでいくことが協創の基本的な考え方ですので、考え行動しながら進めていくものとします。
	委員	いらぬ仕事をやっていないか、改めて業務内容の精査、見直しが必要である。	基本計画を具体化する実施計画では、見直した新しい行財政改革プランに基づき、優先度をつけて取り組んでいくこととしています。
	会長	市民のよりよい暮らしのためのサービスの実現に向けて、一方ではそれをサポートする職員の働き方の改善が課題である。	コロナを乗り越えていくための新しい生活様式の具体化のためにも、職員の働き方改革を組織・人員の見直しとともに検討し、新しい行財政改革プランとして明らかにする予定です。
	委員	空き家活用推進の団体を運営しているが、公共施設の維持管理のところで、大きな修理とならないうちに手抜きなく日頃のメンテナンスをこまめに実施するのが肝要である。また、ストックの活用は時代はシフトしていて、古い建物も用途変更してうまく使っていく例もみられるので検討願いたい。	公共施設の維持管理については、計画的なメンテナンスとなるよう努めます。また古い建物を公共施設として活用する場合は耐震補強が欠かせませんので、経費面も含めて慎重に検討して可能性を探っていくこととなります。
会長	基本構想の土地利用にも関連することだがストック活用は最近言われていることなので、盛り込めないか検討してほしい。	加西市自らは所有する土地や建物のストックがたくさんある方ではありませんが、公有資産の有効活用に取り組み、空き家など民間の既存ストックを地域の資源として活用する方向性を示すようにします。	
施策㉑	委員	民間活力の活用で、リコージャパンとの連携などを見せるとよいので、具体的に書き込んでほしい。	総合計画に具体的な会社名を出すのは難しいですが、取り組みは出せますので、大手事務機販売会社と連携したSDGsのセミナー開催などの紹介を記載します。



## 政策1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実

女性の社会進出に伴う低年齢児の保育ニーズの増大、核家族化の進行や地域のつながりの希薄化による子育てに不安を抱える保護者の増加など、子育てをめぐる地域や家庭の状況は変化し続けており、結婚や出産・子育てに関する希望がかなう社会の実現に向けて、地域社会全体で子ども・子育て支援を推進していくことが求められています。

### 加西市のこれまでの取り組みと課題

#### ▶ 男女の出会いのサポート

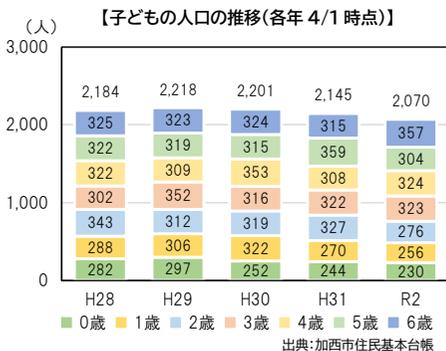
結婚を望む人への出会いの場の提供を目的として、加西市出逢いサポートセンターを立ち上げ、マッチング支援を行っています。また、加西市商工会議所やふるさと創造会議など、地域団体との連携のもと、婚活イベントやセミナーを開催しています。未婚率の上昇や合計特殊出生率<sup>1</sup>の低下等が課題となっているため、**出会いから結婚、妊娠出産までの総合的かつ切れ目ないサポート体制の強化**を進めていく必要があります。

#### ▶ 幼児教育・保育に係る費用負担の軽減

国に先駆けて幼児教育・保育の無償化を実施してきました。令和元年度より全国で幼児教育・保育の無償化が実施されましたが、本市では同時に給食費の無償化も実施し、子育て負担の軽減を推進しています。また、中学3年生までの医療費無償化やひとり親家庭への経済的支援も行っています。子育てしやすいまちづくりの実現に向け、引き続き**行政・家庭・地域が連携した、まちぐるみでの子育て不安の解消**に取り組む必要があります。

#### ▶ 地域における子育て環境の整備

子どもの健やかな成長や、保護者同士の交流の機会を提供するための拠点として、市内各地区に子育てひろばの整備を進めてきました。近年は低年齢から保育所に入所するケースが増えているため、利用者は減少傾向にあります。地域における子育て環境充実のため、既存施設を効果的に活用していくことが必要となっています。子どもの健やかな成長と親子のふれあいの機会づくりを推進するため、**保育施設の整備と親子で遊べる交流拠点の創出**が求められます。



#### 市民の声から



- 子育てがたつらくならないよう、共働き世帯に優しい環境が必要
- 母親どうしのつながりも希薄だと思うので、人がつながる場所を増やしてほしい
- おじいちゃんやおばあちゃんも参加して、地域みんなで子どもを見守る取り組みが進むと嬉しい

家族や子どもを持ちたい希望に対し、切れ目ない支援で叶えられるまちをめざします。

### 主な施策

#### ① 結婚・妊娠・出産支援の充実

- ア 若者の出会いの場のサポート制度を事業者と連携し、構築するとともに、若者交流等、若者が気軽に会えるイベントの実施に努めます。
- イ 妊娠・出産支援として、特定不妊治療の助成を行うとともに、妊娠期から子育て期にわたる、**子育て世代包括支援センター<sup>2</sup>**を中心とした切れ目ない支援体制の構築と母子保健事業を推進します。
- ウ 市内への産婦人科医の確保に取り組むとともに、産後ケアの充実など安心して出産できる環境を整備します。

#### ② 地域ぐるみでの子育て支援の推進

- ア 地域ぐるみでの子育て支援体制の充実や子育てに関連する情報提供の強化、保護者の負担軽減に取り組むとともに、学校等との連携により充実した学童保育の環境づくりを進めます。
- イ 子どもの医療費自己負担の無料化の継続及び任意予防接種の費用助成の拡大に取り組めます。
- ウ 乳幼児のいる世帯・多子世帯及びひとり親家庭など、子育て世帯の負担軽減に取り組めます。
- エ 企業に対して、子育てに配慮した職場環境づくりに関する情報提供や啓発を行うとともに、子育てをしている親に配慮した、子育て応援企業の支援を行います。

#### ③ 子育て環境の充実

- ア 未来型児童館等の子ども・子育てを総合的に支援する拠点や、親子が遊び、交流できる場の整備を進めていきます。
- イ 教育・福祉・保健部門が連携した相談支援体制の強化と公営・民営の協調連携による幼児期の教育・保育提供体制の強化に取り組めます。
- ウ 遊びながら学べる屋内遊具施設を誘致し、雨の日でも遊ぶことができる環境を整備します。

### 未来の姿を実現するため、各主体に期待する役割

市民ができること	団体・事業者ができること
○出会いを希望する男女を応援する	○結婚を希望する男女への支援を進め、結婚後も働き続けられる職場づくりに努める

### まちづくりの指標

合計特殊出生率		
現状値(R元)	中間値(R7)	目標値(R12)
●●	1.83	2.10

### 関連する計画・条例

- 加西市子ども・子育て支援事業計画

1 合計特殊出生率：一人の女性が生涯何人の子どもを産むのかを表す指数のこと。

2 子育て世代包括支援センター：妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を一体的に提供するため、保健師等が妊娠・出産・育児に関する様々な相談に応じるとともに、必要に応じて情報提供や関係機関との連絡調整を行い、支援のためのプランを作成する機関のこと。



## 政策2 子どもの教育の充実

少子化や経済のグローバル化、情報化等により社会が大きく変化するなか、教育を取り巻く環境も大きく変化しています。また、子どもの学が意欲や学力の低下とともに、規範意識や自己肯定感の低下等が全国的に問題視されています。子どもたちが新しい時代を切り拓く力を培うことができるよう、「生きる力」の基礎を養う教育が求められます。

### 加西市のこれまでの取り組みと課題

#### ▶ 次世代に対応した教育環境の整備

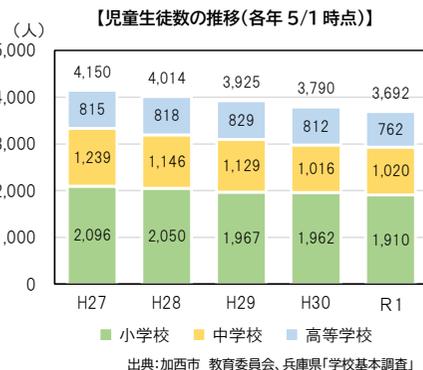
幼少期からの一貫した教育を推進するため、保幼小中連携実現に向けたカリキュラムの検討や合同研修会の開催に取り組んでいます。また、グローバル化に対応できる人材を育成するため、外国人語学指導助手（ALT）を配置しているほか、英語が堪能な地域住民を活用したオンライン英会話授業のサポートや、学級担任との「チームティーチング」<sup>1</sup>授業を行いました。加えて、文部科学省が進める「GIGAスクール構想」<sup>2</sup>の実現に向け、市内すべての小中特別支援学校において、児童生徒一人につき一台のパソコンを導入し、教育現場におけるICT<sup>3</sup>環境を整備しました。今後は、生きる力の育成に加え、郷土愛の醸成という観点からも、**地域や学校間での連携による、特色ある教育を展開**することが重要となります。

#### ▶ 教職員の資質向上

教職員の資質向上を目的として、総合教育センターを中心とした講座開催や学校間の連携強化に取り組んでいます。研修内容や講師については、市内外の教育機関と連携し、研修講座がより充実したものとなるよう努めました。今後も引き続き、**安心して学ぶことのできる環境を維持**していくことが必要です。

#### ▶ 地域と連携した学校づくりの推進

児童生徒の実態に応じたきめ細かな指導の充実のため、スクールサポーターを小中学校に配置しているほか、北条高校の活性化を目的として、北条高校活性化協議会への活動支援を行っています。アフタースクールゼミ事業として、大学や予備校と連携した学習支援を実施しているほか、幅広いジャンルから優れた講師を招き講演をさせていただく講演会事業では、生徒に加え保護者や地域住民を高校へ呼び込むなど、地域の文化活動の拠点としても機能しています。子どもが安心して教育を受けることができるよう、**地域と連携した子どもの権利を守るための社会づくりを進めていく**必要があります。



#### 市民の声から



- 公立高校をつくる(変える)のは難しいが、職業訓練校のようなものなら可能では
- 子どもに加西市の魅力を伝えていくのは重要
- 工業科、商業科を設置することで、市内の企業に就職できる道筋を作れないか

自ら学び行動する能力を身につけ、子どもの可能性を広げられるまちをめざします。

### 主な施策

#### ④ 教育の質の向上

- ア 小・中・特別支援学校における国際理解を深める教育や一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実に取り組むなど、特色ある学習活動によって、生きる力を育む教育を推進します。
- イ 市内小中学校において一貫した教育を実現するため、学校間及び各校種間の連携強化を図ります。
- ウ 地元高校との連携を強化し、活性化に向けた支援を行います。

#### ⑤ 教育環境の充実

- ア 情報教育の環境を整備し、子どもたちの情報活用力の向上を図ります。
- イ 安全な教育環境を実現するため、感染症対策に努めるとともに市内小中学校の耐震化や長寿命化を進めていきます。
- ウ 小中学校のあり方の検討を進め、これからの地域に相応しい学校の環境整備を図ります。

#### ⑥ 地域で子どもを守り、育てる仕組みの充実

- ア いじめ・不登校対策として、スクールカウンセラーや学校サポートチームによる相談・支援等を行います。
- イ 地域全体での学校の支援や、地域に信頼される学校づくりの推進に取り組めます。
- ウ 地域との連携・協力のもと、子どもの学習支援・体験活動の推進に取り組めます。

### 未来の姿を実現するため、各主体に期待する役割

市民ができること	団体・事業者ができること
○地域の資源を活かした教育活動を進める	○安全パトロールに取り組むなど、子どもたちの安全確保に協力する

### まちづくりの指標

「授業がよくわかる」と回答した児童生徒の割合

現状値(R元)	中間値(R7)	目標値(R12)
●●%	●●%	●●%

### 関連する計画・条例

- 加西市子ども・子育て支援事業計画
- 加西市教育振興計画

1 ティームティーチング：複数の教員あるいは指導者が役割を分担し、協力し合いながら指導計画を立て、指導する方式のこと。  
 2 GIGAスクール構想：子どもたち一人一人の個性に合わせた教育を実現するため、1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境などを整備する構想のこと。  
 3 ICT：インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジーの略称で、情報技術に通信コミュニケーションの重要性を付け加えた言葉のこと。



## 政策3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり

「人生100年時代」<sup>1</sup>の到来が言われるなかで、学びやスポーツ等の目的や形態などが一層多様化してきています。また、市民がそれぞれの置かれた立場や境遇によって、学びの方法や質、量の違いが生じています。一人ひとりが最期まで元気に自分らしく人生を楽しみ、日常生活や社会のあらゆる場で活躍できるよう、生涯学習や芸術・スポーツに携わる機会の提供と主体的な健康づくりを推進していくことが求められます。

### 加西市のこれまでの取り組みと課題

#### ▶ 生涯学習に関するイベントの開催

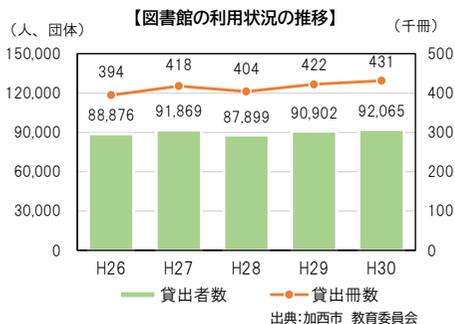
生涯学習については、公民館を中心として情報発信や「公民館まちづくり出前講座」の開催など、生涯学習参加促進に向けた取り組みを進めてきました。また「アステリアかさい」内にある図書館では、市内小中学校との連携による出前講座の実施や各種イベントの開催などに取り組んできました。一人ひとりの学びを普段の生活やまちづくりのなかで活かすことができるよう、今後も引き続き、**多様な学習機会と学習の成果を活かせる機会の提供**に取り組む必要があります。

#### ▶ 連携を通じた学習機会・参加機会の提供

公民館や図書館等で各種団体とも連携しながら、様々な講座やイベントの開催など、市民のニーズに応じた幅広い学習機会を提供しています。また、スポーツ活動についても、市民が参加できる大会の開催や活動の場の提供、体育協会等の各種団体等との連携強化を進めています。加西市での生活がより豊かなものとなり、加西市で暮らすことを魅力として感じてもらえるよう、**生涯にわたって文化や芸術とふれあい、スポーツに取り組むことができる環境づくりの充実**を図ることが大切です。

#### ▶ 歩くまちづくりを通じた健康増進

高齢になっても地域で元気に暮らせる「健幸」都市をめざし、平成27年4月に「加西市歩くまちづくり条例」を制定しました。本条例に基づき、各種行政計画は健康増進の視点を取り入れており、全市民的な健康増進の取り組みを推進しています。健康であることは自分らしい暮らしを支える根本であるという考えのもと、**全世代の健康づくりに対する意識の向上をさらに進めていくことが重要です。**



#### 市民の声から



- 中核となる人が必要であり、人材育成は重要
- 30～40代で生涯学習に参加しない人が多いと聞くと、興味をもたない人をどう振り向かせるかが重要
- 文化・スポーツを楽しむ方法や情報の発信を、今の時代に合わせて伝えていく必要がある

生涯、学びやスポーツを楽しみ、日常生活やまちづくりに活かせるまちをめざします。

### 主な施策

#### ⑦ 生涯学習の充実

- ア 公民館を中心とした学習の機会を充実させるとともに、自主的に学が公民館登録グループによる社会貢献活動を推進し、幅広い年代の方が利用しやすい環境を整えます。
- イ 幅広く高度な情報が提供できるよう、図書館サービスの拡充に努め、図書館の活性化を図ります。

#### ⑧ 芸術・スポーツの振興

- ア 生活の様々な場面において芸術文化を感じることでできる環境づくりや、高齢者や障がい者を含めたスポーツ、レクリエーション活動の推進に取り組みます。
- イ 総合体育館の整備や既存施設の改修を行い、身近な場所でスポーツを楽しむ機会を拡充します。
- ウ 地域に密着して活動するスポーツ団体の指導者を養成し、活動を支援します。

#### ⑨ 健康増進の推進

- ア 市民の健康づくりに対する意識醸成に取り組むほか、こころの健康についての支援体制を整えます。
- イ 市民が歩いて暮らす健康づくりのための拠点整備や環境の整備を推進します。
- ウ 市民の各種健診への受診率向上を図るとともに、地域の健康づくりを目的とした、自主的な地区組織活動を支援します。
- エ 学校給食などでの地産地消、食の安全確保や、食育、健康教育の推進を図ります。

### 未来の姿を実現するため、各主体に期待する役割

市民ができること	団体・事業者ができること
○講師や指導者の候補として志願するなど、生涯学習や文化・スポーツ活動等に率先して参加する	○生涯学習や文化・スポーツ活動等の普及のため、講師・指導者の育成を支援する

### まちづくりの指標

文化・スポーツ活動の参加者数		
現状値(R元)	中間値(R7)	目標値(R12)
●●	●●	●●

### 関連する計画・条例

- 加西市生涯学習・社会教育行政推進計画
- 加西市スポーツ推進計画

<sup>1</sup> 人生100年時代：長寿化により、100歳まで人生が続くことが珍しくなくなる時代を指す言葉のこと。

# 政策4 暮らしを支える福祉・医療の充実

高齢化の進行や就労環境の変化、価値観やライフスタイルの多様化などを背景として、様々な福祉的課題が顕在化しています。直近では「2025年問題」<sup>1</sup>に伴う福祉ニーズと社会保障費の増大が懸念されており、複雑多様化する福祉的課題に対応できる体制を、福祉や保健医療に加え、地域が一体となって構築していくことが重要となっています。

## 加西市のこれまでの取り組みと課題

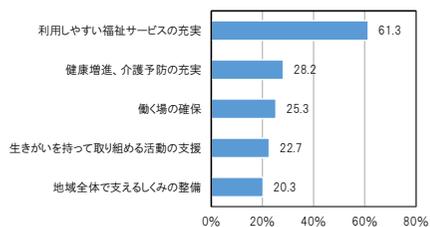
### ▶ 地域包括ケアシステムの深化・推進

現在、地域包括支援センターを中心として、住まいや医療、介護サービス等が一体的に提供される地域包括ケアシステム<sup>2</sup>の深化・推進に取り組んでいます。また、担い手育成や資源開発に関するネットワーク組織として第1層生活支援体制整備協議体を設置したほか、介護予防の取り組みとして、「かさいいきいき体操」など様々な事業を実施しています。加えて、住民主体の活動を促していくために介護予防リーダー養成講座を開催しています。今後も引き続き、**最期まで自分らしく暮らすことのできる地域支援体制の強化**に取り組む必要があります。

### ▶ 地域で暮らす方々を支える連携体制の構築

行政・地域・社会福祉協議会等との連携のもと、「あったかシステム」と呼ばれる小地域を単位とした支え合いによる福祉が展開されています。また、自立支援協議会や加西市を含む近隣市町によって構成される「北播磨障がい福祉ネットワーク会議」において、障害福祉に関する関係者の連携及び支援体制等に関する協議を行っています。多様な主体が役割を持ち、地域や社会で活躍できるよう、**一人ひとりの自立と尊厳を守る地域共生社会の実現に向けた取り組み**が重要となっています。

【高齢者福祉や障がい者福祉の充実のために、力を入れるべきだと思うこと(上位5位)】



出典：加西市のまちづくりに関するアンケート調査(令和元年度実施)

### ▶ 健康維持のための保健・医療体制づくり

定期的な予防接種や健康教育、保健指導のほか、医療については、二次医療機関である市立加西病院を中心とした地域医療の推進に加えて、休日当直医制度や小児救急医療電話相談などの体制を整えています。誰にとっても安心して暮らすことのできる加西市であるために、**地域における保健・医療体制の再構築**は喫緊の課題となっています。

#### 市民の声から



- 「福祉＝人にやさしいまちである必要がある」という発想はとても大切
- 地域のつながり、仕組みを再構築する必要がある
- 加西病院の充実を望みたいが、縮小は避けられない。どう活用していくかが大切。加西病院の経営をよくすることが重要

住民が生涯にわたって、健康で自分らしく暮らすことのできるまちをめざします。

## 主な施策

### ⑩ 高齢者福祉の推進

- ア 配慮を必要とする方やその介護者を支援するための総合的な支援体制を構築するとともに、高齢者が孤立することのないよう、地域に密着した取り組みを推進します。
- イ 高齢者が自分らしく暮らすことができるよう、就業機会の拡充や住民主体での地域活動の推進に取り組みます。

### ⑪ 障がい福祉・地域福祉の充実

- ア 障がいのある方など、配慮を必要とする人の地域生活移行や社会参画の促進に向け、就労機会の拡充や、様々な機会における合理的配慮の提供に取り組みます。
- イ 社会福祉協議会やふるさと創造会議との連携のもと、「あったかシステム」を中心とした、小地域福祉活動の充実に取り組めます。
- ウ 経済的に困窮している方が自立した生活を送ることができるよう、就労支援や経済的支援等の自立支援に取り組みます。また、コミュニティにおける地域の見守りや居場所づくりにも取り組めます。

### ⑫ 保健・医療体制の確保

- ア 加西病院の改築整備を行うとともに、医療従事者の確保と安全な医療体制を構築し、健全で着実な病院運営の実現を目指します。また、近隣病院、診療所との連携を強化します。
- イ 県や医師会等との連携強化や、保健・医療・福祉・介護等の関係機関との連携により、サービスが適切に受けられる地域医療体制を確保します。

## 未来の姿を実現するため、各主体に期待する役割

市民ができること	団体・事業者ができること
○市民がボランティア活動を通して、障がい者、子供、高齢者を支援する	○ボランティア団体の活動、運営支援を行う

## まちづくりの指標

要介護認定率		
現状値(R元)	中間値(R7)	目標値(R12)
●●	●●	●●

## 関連する計画・条例

- 加西市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
- 加西市障害者基本計画・障害福祉計画・障害児福祉計画
- 加西市地域福祉計画 ○市立加西市病院改革プラン

1 2025年問題：2025年(令和7年)を境として、日本の総人口の大部分を占める「団塊の世代」が後期高齢者(75歳以上)となることにより、様々な福祉的課題が顕在化する問題のこと。  
 2 地域包括ケアシステム：高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を安心して続ける事ができるよう、主に中学校区を単位として、住まい・医療・介護サービス・生活支援・介護予防を切れ目なく一体的に提供する仕組みのこと。



## 政策5 農業の再生と活性化

日本の農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や担い手・後継者不足による耕作放棄地の増加など、深刻な状況にあります。生産性の向上に加え、耕作放棄地の抑制や担い手確保など、農業の持続可能性を確保することは全国的な課題となっています。農地は、防災や福祉、観光、景観等、まちづくりの様々な分野において有効な機能を有していることから、農地の適切かつ多様な活用も一層重要となります。

### 加西市のこれまでの取り組みと課題

#### ▶ 農業活性化に向けた各種支援の実施

古来より農業がさかんな土地であり、酒造好適米である「山田錦」をはじめ、トマトやイチゴ、アスパラガス等の野菜、ブドウなど多様な作物が生産されています。主要産業である農業の一層の活性化を目指し、加西ブランド協議会による農産物のブランディング、JAとの連携による産地形成、生産のための経済的支援などの取り組みを進めています。人口減少や高齢化の進行により農業従事者が減少する中で、農業の持続可能性を確保するために、**農業継承者の減少対策**を講じる必要があります。

#### ▶ 農業に携わる方へのサポート

定期的に「かせい農業塾」を開催し、生産者のスキルアップや本市の農業のPRを行っているほか、大学等連携による農業分野での地域活動にも取り組んでいます。また、新規就農者への研修受け入れや経営安定化支援等のサポート体制の充実にも取り組んでいます。農業の持続可能性の確保に加え、まちの魅力創出という観点からも、**生産価値の向上による農業の活性化**は大切な取り組みとなります。



#### ▶ 安定した経営への支援

農業用施設の長寿命化や有害鳥獣対策の推進など、農業を保護する取り組みを進めているほか、最新技術を取り入れた農業への助成など、新たな展開に向けた支援も行っています。今後も引き続き、**農業運営を持続させるための安定化**の取り組みを進めていくこと重要となります。

#### 市民の声から



- ICTなどによる農業の効率化を図る。発展することで、加西で働きたくなるきっかけにつながるかもしれない
- 農業に活気が出てほしい
- 新規就農を、若い人の価値観として、生きがい重視で自分のやりたいことをする傾向や、趣味の世界からの発展としてつなげられるようにしてはどうか

加西の特産品を生産する喜び、やりがいのある農業が展開されるまちをめざします。

### 主な施策

#### ⑬ 農業従事者の確保と育成

- ア 生産者を対象とした経営の指導のほか、**6次産業化<sup>1</sup>**に向けた支援の充実を図り、就農者の資質向上に取り組みます。
- イ 若い世代や女性も含めた新規就農者の支援に努めるとともに、法人の設立と参入を推進し、就農希望者の研修受入制度や市民農園をPRしていきます。

#### ⑭ 農業経営の支援

- ア 農地の利用集積支援、営農組織化や法人化の推進、農業用機械や施設整備にかかる補助の拡充など、農業経営の持続可能性を確保する支援を進めていきます。
- イ 農業の所得拡大とまちのPRを目的として、地元農作物のブランディングを進めるとともに、主要農作物生産者に対して助成を行います。
- ウ 地元農産物を食材利用する事業者への支援や学校給食への提供などにより、**地産地消<sup>2</sup>**や食育を推進します。

#### ⑮ 農業環境の充実

- ア ICT技術等を活用して、省力・高品質生産を実現する新たな農業の普及に取り組めます。
- イ ため池の耐震化、農地維持や農業用施設の長寿命化のほか、有害鳥獣対策の強化など、安定した農業経営を実現するための環境づくりに取り組みます。

### 未来の姿を実現するため、各主体に期待する役割

市民ができること	団体・事業者ができること
○地域農業の担い手の育成に努める	○農業後継者、新規就農者との協力体制を築く

### まちづくりの指標

認定農業者数及び認定新規就農者数		
現状値(R元)	中間値(R7)	目標値(R12)
●●人	●●人	●●人

### 関連する計画・条例

- 加西市産業振興計画
- 農村振興基本計画
- 加西市特定事業主行動計画

1 6次産業化：農業などの第一次産業において、生産された食品の加工（第二次産業）、流通及び販売（第三次産業）も一体的に担うことにより第一次産業を活性化させる経営形態への移行のこと。  
2 地産地消：地域生産・地域消費の略称で、地域経済の活性化等を目的に、地域で生産された様々な生産物や資源をその地域で消費すること。



## 政策6 商工業の振興と新展開

高齢化の進行や女性の社会進出等により、高齢者や女性の就労が増加してきましたが、非正規雇用や失業者も増加傾向にあることが課題となっています。また、にぎわいと活気のあるまちづくりのために、市内経済を活性化させることも重要な取り組みです。そのため、新型コロナウイルス対策とともに企業誘致や地元産業の活性化を図るほか、労働環境の整備にも取り組み、経済活性化と雇用創出を同時に進めていくことが求められます。

### 加西市のこれまでの取り組みと課題

#### ▶ 市内経済の活性化

地域経済の活性化を目的として、地域における各種ビジネス講座を開催しているほか、中小企業融資制度に基づく起業支援の制度を整えています。また、市内消費の喚起を目的に、ポイントカードや住宅リフォーム助成事業、市内共通商品券を発行しています。市内経済活性化という観点から、今後も継続して**事業運営の維持安定と市内における需要喚起**に取り組む必要があります。

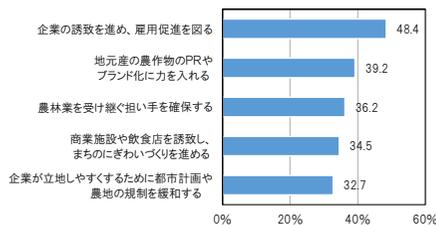
#### ▶ 市外からの流入の受け皿整備

令和元年度より、加西インター産業団地整備の取り組みを進めており、企業誘致による市経済の活性化が期待されています。また、平成30年12月には市内にビジネスホテルがオープンしており、ビジネス客や観光客の受け皿として機能しています。今後は、U・J・Iターン促進のための雇用の受け皿確保という観点から、**創業や企業誘致と新産業の導入**を進めていくことが求められています。

#### ▶ 起業・就業の支援

市内での起業を促すため、関係課や関係機関の連携のもと、ワンストップ相談窓口や「かさい創業塾」等を通じて、創業希望者に対する支援を行っています。また、若者が加西市で働くことができるよう、兵庫県出身者の多い大学への訪問や、加西市雇用開発福祉協議会、ハローワーク西脇と連携した合同就職面接会の開催等に取り組みました。全ての人がいよいよ活躍できる社会を構築するため、**誰もが自分らしく働くことのできる環境づくり**を進めていくことが重要となります。

【加西市の産業振興に向けて、重要と考える取り組みについて】



出典：加西市のまちづくりに関するアンケート調査（令和元年度実施）

#### 市民の声から



- 高卒の方の募集があるという、市の把握している情報を広く市民に開示するなど、情報を取り込みやすい体制を整えてほしい
- 下町ロケット的な問題は、地方がどこも抱える課題。地元の力を最大限に活用・アピールしてはどうか
- 就業者の居住の確保に空き家を利用してはどうか

産業の振興を通じて活性化し、働きたいと思う就労環境のあるまちをめざします。

### 主な施策

#### ⑯ 商工業の振興

- ア 商工業の振興と地域経済の活性化を目指して、企業のデジタル化等の設備投資や事業拡大に向けた支援に取り組みます。
- イ 市内消費の喚起を目的として、ポイントカード事業や市内共通商品券の発行等に取り組みます。
- ウ 魅力ある商業施設の誘致を進めるとともに、市外からの観光客を受け入れるための宿泊施設等のさらなる充実に取り組みます。

#### ⑰ 創業支援

- ア 創業希望者に対して、関係機関との連携のもと、相談や指導助言、空き店舗やオフィス補助などの創業支援を実施します。
- イ 若者等の起業や事業継承のための支援に努めます。
- ウ 地元企業も進出しやすい産業用地の整備の支援、市内企業の拡張・移転の支援に取り組みます。
- エ 加西インター産業団地整備を進め、企業誘致等について計画的に取り組みます。

#### ⑱ 雇用・勤労者福祉の充実

- ア 多様な媒体を通じて就職に関する情報提供を進め、市内における雇用の促進を図ります。
- イ 女性や若者、高齢者、障がいのある人などの就職に向けた支援を関係機関と連携し実施します。
- ウ U・J・Iターンによる就職・起業など、市外からの就業に向けた取り組みを推進し、定住促進を図ります。

### 未来の姿を実現するため、各主体に期待する役割

市民ができること	団体・事業者ができること
○地場産品に対して誇りを持ち、できるだけ地場産品を購入する	○商品開発や販路開拓、経営改善などに取り組む

### まちづくりの指標

製造品出荷額		
現状値(R元)	中間値(R7)	目標値(R12)
●●円	●●円	●●円

### 関連する計画・条例

- 加西市産業振興計画
- 加西市特定事業主行動計画



## 政策7 地域資源の活用と人の流れの創出

地域創生の取り組みが全国的に加速化しているなかで、いかにして既存の地域資源を有効活用し、人の流れを創出するか、という点が地方自治体の課題となっています。これまで、地域資源を活用した観光振興が全国的に展開されてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により移動が制限される最近の状況より、これまでとは異なる方向性での対応が必要となっています。

### 加西市のこれまでの取り組みと課題

#### ▶ 計画的な文化遺産の保存と地域資源の適切な活用

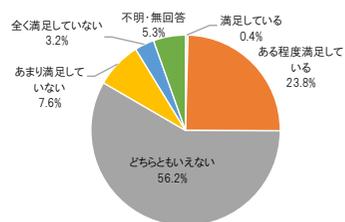
第二次世界大戦中に旧日本海軍が設置した鶴野飛行場、第一次世界大戦時に設置された青野原俘虜収容所等の戦争遺産が市内に位置しています。平成30年度より、これら戦争遺産を活用し、他自治体とも連携しながら「空がつなぐまち・ひとづくり交流事業」を進めています。

令和2年度には「加西市文化財保存活用地域計画」を策定しており、歴史文化遺産の保存・活用に関する方針や推進体制を明確にしたうえで、行政・地域住民・関係団体の協力と連携のもと、総合的な取り組みを進めています。今後も引き続き、**地域資源を活用したまちの魅力創出**に取り組み、加西市に関心を持ち、加西市を訪れる人を増やしていくことが欠かせません。

#### ▶ まちのPRと移住者支援

移住・定住に向けた取り組みとして、市内外にまちの魅力をもっとPRするシティブロモーション<sup>1</sup>「イーナカサイ」を展開しています。また、奨学金助成・通学定期券補助等の経済負担軽減策やお試し移住の実施による定住への結びつけなど、若者の生活をサポートする取り組みを進めています。人口減少を抑制するために、U・I・Jターンの促進が重要となりますが、**魅力あるまちづくりを通じて、人の流れの創出をさらに推し進めていくことが重要**となります。

【文化財保存の推進についての満足度】



出典：加西市のまちづくりに関するアンケート調査（令和元年度実施）

#### ▶ 空家等対策の推進

増加する空き家・空き店舗の利活用を目的として、**空き家バンク**<sup>2</sup>による住居紹介に加え、飲食店や宿泊施設等としてのリノベーションを行っています。また、令和元年11月には加西空き家対策専門家協議会「え〜がい加西」との連携協定を結ぶなど、空き家等対策の体制強化にも取り組んでいます。空き家バンクについては登録者数が少ないことが課題となっていますが、移住希望者に対する住居提供支援策となりうることから、リノベーション等も視野に入れた、**より効果的な空き家等の利活用の方策について検討が必要**です。

#### 市民の声から



- いくつかある資源を、どうまとめてブランディングするかを話し合い、対象者に合わせた情報発信を考えていく必要がある
- 加西の産業である農業の体験を観光とつなげるなど、体験型観光のアイデアは良いと思う。観光客と市民が交流できると良い

地域資源を十分に活かし、加西市を訪れたいと感じる魅力あるまちをめざします。

### 主な施策

#### ⑱ 歴史・文化の再発見と交流拡大

- ア 「加西市文化財保存活用地域計画」をもとに歴史文化遺産を活かしたまちづくりと、計画的な保存・活用を推進します。
- イ 加西市独自の地域資源を活用した観光サービスを展開するとともに、観光拠点のネットワーク化など、観光振興の仕組みづくりにも取り組みます。
- ウ 北条旧市街地の活性化や市内宿泊施設の活用などを進め、まちのにぎわいづくりに取り組みます。

#### ⑳ 移住・定住の支援

- ア 転出の抑制と移住の促進のため、奨学金返還など各種支援に取り組みます。
- イ 若者の住居確保をサポートする取り組みを推進します。
- ウ 若い世代の定住を促進するため、若者の夢の実現を支える支援を進めます。

#### ㉑ 空き家・空き店舗の利活用

- ア 関係団体との連携のもと、空き家相談体制の強化や空き家バンク制度の定着を図ります。
- イ 空き家・空き店舗を幅広く活用したまちづくりを進めます。

### 未来の姿を実現するため、各主体に期待する役割

市民ができること	団体・事業者ができること
○「チャレンジを応援できるまち」として、まず市民が率先して活動を応援する	○移住者が地域や職場で活躍できる機会を提供する

### まちづくりの指標

若者の残存定住率		
現状値(R元)	中間値(R7)	目標値(R12)
●●%	●●%	●●%

### 関連する計画・条例

- 加西市歴史文化基本構想
- 加西市空家等対策計画
- 加西市観光推進基本計画

1 シティブロモーション：移住・定住や観光振興等を目的として、まちの魅力や内外にアピールする一連の事業のこと。  
2 空き家バンク：空き家の賃貸・売却を希望する所有者から提供された情報を集約し、空き家の利活用を希望する人に紹介する制度のこと。



## 政策8 市民が安全・安心に暮らせる環境の充実

これまでから、地震や台風等の自然災害への対応は重要な分野として認識されてきましたが、令和2年1月に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、感染予防を重点に置いた日常生活が注目されてきており、今後は感染症対策についても重点的に取り組む必要があります。また、複雑多様化した犯罪の発生や地域の連帯機能の希薄化等により、防犯・交通安全対策についても強化が必要となっています。

### 加西市のこれまでの取り組みと課題

#### ▶ 危機的状況に対応するための体制整備

自然災害やパンデミックの発生などの危機的状況に備えて、要援護者台帳の更新や個別支援計画の策定、自主防災組織や消防団の活動支援、北はりま消防組合との連携による地域防災力の強化に取り組んでいます。また、新型コロナウイルス感染症の拡大によって日常生活や事業所経営の継続が困難に陥った方や企業を対象として、各種経済支援を行っているほか、感染症対策のための情報収集や必要な物資の備蓄などにも取り組んでいます。自然災害への懸念や新型コロナウイルス感染症の影響は今後も継続していくため、**危機的状況でも生活・事業運営を継続できる体制を構築**することが重要となっています。

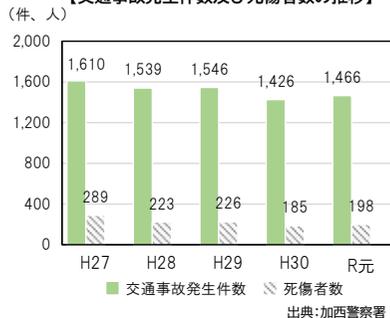
#### ▶ 交通安全対策の推進

市内の治安維持を目的として、市民への防犯情報のメール配信や地域への防犯カメラ・防犯灯の設置、公用車を活用した防犯パトロールの実施などに取り組んでいます。また、交通安全対策の取り組みとして、保育園・幼稚園や小学校、老人クラブを対象として交通安全教室を開催しているほか、警察や交通安全協会等との連携のもと、高齢者の免許返納の促進に取り組んでいます。住みやすい地域を維持していくため、引き続き地域や関係機関と連携しながら、**日常生活における安全・安心な環境の充実**を推進することが求められます。

#### ▶ 市民の消費生活の保護

市民の安全安心な消費生活を保護するため、加西市地域交流センター内に市民相談室・消費生活センターを設置しており、日常生活上の相談や、消費生活全般の相談を受け付けています。また、協定を結んでいる西協市消費生活センターとも連携し、相談体制と啓発活動の強化を図っています。インターネットを使った売買や決済が普及するなか、便利な機能を安心して使用できるよう、**デジタル社会のなかでの消費者保護への対応**が重要となります。

【交通事故発生件数及び死傷者数の推移】



#### 市民の声から



- 防犯・防犯は、地域のコミュニケーションを常に取り、つながりを密にすることが必要
- 子供の安全は重要だと思う。子どもに向けての防犯に関する学習会を実施が必要
- 空家家の防犯活動も大きな課題であり、地域に広く目を行き届かせることが必要

地域と連携・協働した支援体制の構築と強化で、安全・安心に暮らせるまちをめざします。

### 主な施策

#### ②② 防災・感染症対策の充実

- ア 防災訓練や災害対策に関する情報提供、災害時要援護者の登録促進や防災リーダーの育成を図り、防災体制の強化に取り組めます。
- イ 自主防災組織の活動促進や地域の消防団への支援等、地域防災力の向上に努めます。
- ウ 関係機関との連携体制を強化し、情報共有及び感染症患者の入院受入体制の確保等に取り組めます。

#### ②③ 防犯・交通安全の向上

- ア 防犯灯や防犯カメラなどの機器設置に加え、地域と連携した見守り体制の強化により、安全安心な地域づくりに取り組めます。
- イ 警察や交通安全協会等との連携により交通安全の啓発を進め、交通事故のないまちを目指します。

#### ②④ 市民相談・消費者保護の充実

- ア 市民の様々な悩みごとに対応するため、市民相談体制の充実を図ります。
- イ 複雑化する消費者被害を防止するため、消費者問題の啓発や情報提供に努めるとともに消費生活相談体制の充実を図ります。

### 未来の姿を実現するため、各主体に期待する役割

市民ができること	団体・事業者ができること
○市民一人ひとりが防災意識を高める	○企業、消防団が、市民の危機意識を高めるための啓発等の活動をする

### まちづくりの指標

防災・防犯等の訓練・講習回数		
現状値(R元)	中間値(R7)	目標値(R12)
●●回	●●回	●●回

### 関連する計画・条例

- 加西市地域防災計画
- 加西市国民保護計画
- 災害時要援護者避難支援計画



## 政策9 快適な都市空間の創出

都市の空間が快適かつ魅力的な場所であるためには、住みやすい住宅を適切かつ計画的に供給するとともに、心安らぐ自然と文化的景観が調和した空間を整備していくことが重要です。そして、これらの空間を維持していくためには自然環境を保全していくことが求められますが、そのためにはまず、市民一人ひとりが地球環境を大切にすることを大切にする意識を持つことが大切です。

### 加西市のこれまでの取り組みと課題

#### ▶ 計画的な土地利用の推進

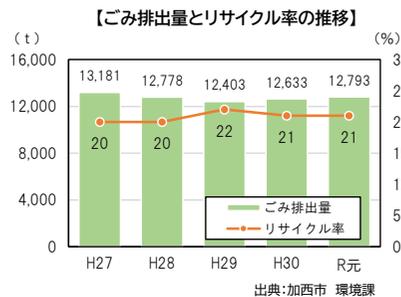
「加西市都市計画マスタープラン」に基づく適切な土地利用の規制・誘導に計画的に取り組むとともに、地域特性に応じた土地利用を推進しています。また、「加西市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、老朽化した公営住宅の計画的な建て替えやストック住宅<sup>1</sup>の活用、計画的なメンテナンスによる長寿命化を進めています。平成27年には、旧下里小学校跡地を活用したニュータウン「ベルデしもさと」の整備を行っています。住み慣れた場所で暮らし続けたいと思える街とするために、**誰にとっても住みやすい住環境の整備**を推進することが求められます。

#### ▶ 自然と歴史の調和した都市空間の維持

自然と歴史が調和した特徴ある景観を維持するため、歴史的景観形成地区である北条旧市街地のリノベーションを行ったほか、地域住民の理解と協力による旧市街地の歴史的街並みの継承、保全に取り組んでいます。また、景観と調和する屋外広告物展示のための指導、良好な環境を創造するための花いっぱい運動等の推進に取り組んでいます。加西市を魅力あるまちとするために、今後も引き続き**自然と歴史が調和した景観の維持**に取り組む必要があります。

#### ▶ 計画的な環境保全の推進

平成17年4月より施行している「加西市環境基本条例・加西市民の美しい環境をまもる条例」、環境政策の具体的内容を定める「加西市環境基本計画」に基づき、環境保全や温暖化対策、新エネルギーの導入と活用に取り組んでいます。**地球全体の環境問題を我が事として捉える意識を市民と共有しつつ、気候変動を防ぐための環境の保全を進めていくことが重要となります。**



#### 市民の声から



- 今ある自然を大切にする、美しい自然を残すための教育が必要
- 既存の資源のもつ魅力のアピールのための世代間交流は良い。自然環境の維持のために世代間交流をすることは、いろいろなメリットが生まれると思う
- 加西の自然の維持と活用は重要だと思う。行政が地域を支援し、地域が環境を維持する

良好な住環境や景観等が整い、加西らしいまち並みが形成されたまちをめざします。

### 主な施策

#### ⑫ 住環境の整備

- ア 市街化区域<sup>2</sup>内の未利用地の流動化や土地区画整理事業区域内の住宅化利用の促進を図ることにより、住宅地の供給に取り組むとともに、新たな住宅地の開発を支援します。
- イ 市街化調整区域<sup>3</sup>における特別指定区域制度<sup>4</sup>の活用や線引きの見直し等、規制緩和に向けた働きかけにより地域の活力再生を図ります。
- ウ 北条市街地の空き家対策と狭あい道路の整備を行い、住環境整備による定住促進を図ります。
- エ 高齢化にも対応した住環境づくりに向けて、関係機関とも連携しながらユニバーサルデザインに基づくまちづくりを推進します。

#### ⑬ 歴史と自然に恵まれた景観の保全

- ア 地域住民と行政の協働により、北条旧市街地の歴史的街並みなど景観の保全に努めます。
- イ 田園・ため池・森林など豊かな緑と調和した景観の保全に努めます。

#### ⑭ 地球に優しい環境都市の創造

- ア 生物多様性に育まれた自然環境づくりを実現しつつ、地球環境に配慮した循環型かつ低炭素社会の構築を推進します。
- イ 加西の風土や文化を活かした環境学習を実施し、自然の大切さの理解を深めます。

### 未来の姿を実現するため、各主体に期待する役割

市民ができること	団体・事業者ができること
<ul style="list-style-type: none"> <li>○良好な街並み維持</li> <li>○ゴミの減量やポイ捨てなどのマナー向上に努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地球環境や地域住民に配慮した事業活動を行う</li> </ul>

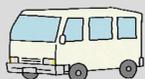
### まちづくりの指標

住宅の新築と事業所の新築・増築件数		
現状値(R元)	中間値(R7)	目標値(R12)
●●件	●●件	●●件

### 関連する計画・条例

- 加西市都市計画マスタープラン
- 加西市環境基本条例・加西市民の美しい環境をまもる条例
- 第3次加西市地球温暖化対策実行計画

1 ストック住宅：既存の建物で売りに出されている物件（中古物件）のこと。  
 2 市街化区域：都市計画法により定められた、すでに市街化を形成している区域および優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域のこと。  
 3 市街化調整区域：都市計画法により定められた、開発が抑制されている区域のこと。  
 4 特別指定区域制度：市町又は地域のまちづくりを行っている団体が、市街化調整区域の土地利用計画を策定し、この土地利用計画に基づき市町から申出がなされる区域を県が条例に基づき指定し、地域に必要な建築物を建築できるようにする制度のこと。



## 政策 10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備

普段の暮らしを安全かつ快適に過ごすために、道路や橋梁等の整備や上下水道の維持管理は不可欠な取り組みです。また、通勤や通学、買い物等の生活を支える足として、そして地域の発展にも貢献する公共交通の充実も暮らしの利便性の向上にとっては非常に大切です。これらサービスの持続的な提供を可能とするため、インフラの適正な管理と運営、老朽化対策が今後重要となります。

### 加西市のこれまでの取り組みと課題

#### ▶ 市内道路施設等の安全確保

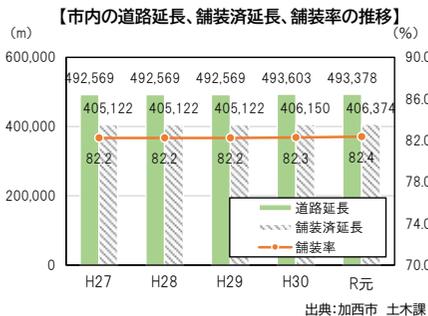
市内の道路施設や橋梁の定期点検を実施し、道路環境の安全性の確保に向けた整備に取り組んでいるほか、地域の生活や産業を支える基盤となっている基幹道路網整備と集落道路の改良工事に取り組みました。地震や台風等の自然災害が懸念される昨今の情勢を踏まえ、身近な道路の改善とともに**自然災害に対応できる環境の整備**に取り組む必要があります。

#### ▶ 計画的な水道事業の推進

水道事業については、昭和 60 年頃に水道普及率がほぼ 100% となっており、安全で安心な水を継続して供給してきました。平成 29 年 3 月には「加西市水道事業経営戦略」を策定しており、安定した水道供給と効率的な事業実施を目指し、計画的に水道事業を進めているところです。今後も引き続き、**効率的で安定した水道運営事業を推進**していくことが重要となります。

#### ▶ 利便性の高い交通手段の確保

北条鉄道や路線バス、KASAI ねっぴ〜号（コミュニティバス）等の、市内及び近隣市町への移動を目的とした公共交通を運行しているほか、中国自動車道を介して神戸・大阪・京都方面へ移動する高速バスも運行しています。今後、車による移動が困難な世代や、**高齢者等への利便性の高い交通手段の確保**を重点的に進めていくことが求められます。



#### 市民の声から



- お年寄りや車のない人の移動手段の確保は必須、最大の課題である
- 普通ワゴン車を、地域の車として運用するのはどうか
- シェアリングカー<sup>1</sup>のアイデアが良い
- ノーマイカーデーという目標を掲げて取り組むことは明確でいいアイデアだと思う

暮らしの中で快適さを感じることができる生活環境が整ったまちをめざします。

### 主な施策

#### ⑳ 道路・河川の整備

- ア 国道 372 号や主要幹線道をはじめとする道路網を整備するとともに、通学路・ガードレール等の安全施設の整備を行います。
- イ 河川や橋梁の維持管理の強化及び未改修河川の整備を進めます。
- ウ 都市公園等の計画的な管理と保全により、活用を促進します。

#### ㉑ 上下水道の整備

- ア 上下水道事業の効率化、安定化、適正化を進め、持続可能な経営を行います。
- イ 上下水道施設の計画的な整備・改修と施設の統廃合を進め、安全な水の供給と安定的な下水処理に努めます。

#### ㉒ 公共交通の充実

- ア 地域の実情に応じた道路交通網の整備や公共交通の導入等を通じて、利便性の高い生活ネットワークを構築します。また、配慮を必要とする方への公共交通利用に関する支援や、わかりやすい情報提供にも取り組みます。
- イ 利便性の高い利用環境を確保するため、北条鉄道の経営支援と利用促進策を実施します。
- ウ 高速バスの増便やバス停周辺の整備等を推進し、利用しやすい環境づくりに取り組みます。

### 未来の姿を実現するため、各主体に期待する役割

市民ができること	団体・事業者ができること
○乗合いやシェアリングなど、交通手段について知識の共有をする	○交通弱者の対応として、シェアリングカーを検討する

### まちづくりの指標

鉄道・コミュニティバス年間利用者数		
現状値(R元)	中間値(R7)	目標値(R12)
●●人	●●人	●●人

### 関連する計画・条例

- 加西市都市計画マスタープラン
- 加西市国土利用計画 ○加西市水道ビジョン
- 加西市地域公共交通網形成計画

1 シェアリングカー：登録を行った会員間で特定の自動車を共同使用するサービスあるいは仕組みのこと。短時間での利用を想定しているなど、レンタカーと比べてより気軽に利用できる仕組みとなっている。カーシェアリングともいう。

政策 1 施策① 結婚・妊娠・出産支援の充実

基本構想との対応 P.17：若者の出会いの場の提供については、出逢いサポーターを通じたマッチングによって実際に成婚となったカップルもあり、一定の成果をあげています。人口対策としても効果的な取組であることから、今後も継続して実施していくことが求められます。

ア 若者の出会いの場のサポート制度を事業者と連携し、構築するとともに、若者交流等、若者が気軽に出会えるイベントの実施に努めます。 ふるさと創造課

団体ヒアリング 婚活パーティーにもっと力を入れれば結婚する人も増えるのでは。仕事終わりに遊びや飲みに行ける場所が無いことが、市の魅力のなさに繋がっている。

市民会議 結婚の世話をする人がいなくなってきた現在、今後も地道に出会いの場をつくっていく活動は重要である。

04	1	事業者と連携し、若者の出会いの場のサポート制度を構築するとともに、特色あるイベントの実施に努めます。	カップル成立年間組数	ふるさと創造課
----	---	--	------------	---------

04	2	関係機関を通じて、企業や事業者等の協力を得ながら職域相互の若者交流等、若者が気軽に出会えるイベントや交流機会の創出を支援します。	職域交流年間事業数	ふるさと創造課
----	---	--	-----------	---------

戦略3-16	16	婚活事業として、ひと出会い協力隊制度、住もう会員登録制度、スキルアップ事業、カップリング民活事業、サポーター登録制度、参加者がふるさとの良さを再発見しながら婚活を行う婚活コラボ事業等の出会いサポートセンター事業を継続実施する。	カップリング年間数	ふるさと創造課
--------	----	---	-----------	---------

イ 妊娠・出産支援として、特定不妊治療の助成を行うとともに、妊娠期から子育て期にわたる、子育て世代包括支援センターを中心とした切れ目ない支援体制の構築と母子保健事業を推進します。 健康課

団体ヒアリング 結婚は個人の自由であるため、未婚率を低くする取り組みよりも、生まれてくる子どもや母親、家族をサポートする施設や制度の充実に力を入れて欲しい。

17	8	★特定不妊治療に対する支援を行います。	特定不妊治療助成年間件数	健康課
----	---	---------------------	--------------	-----

21	2	健やかな発達の支援のため、乳幼児健診や相談を充実します。	妊婦健診の年間受診延べ件数	健康課
----	---	------------------------------	---------------	-----

21	11	★妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない相談や産後ケア等の支援体制を整備します。	産後ケア事業の利用率	健康課
----	----	---	------------	-----

戦略3-03	03	様々な事情により、必要な産後の支援を受けることが困難な母子に対して、母親と子どもを市立加西病院等で実施している産後ケア（助産師等の指導を受けながら身体を回復させるケア（宿泊型・デイサービス型・アウトリーチ型等））に係る助成を行うことにより、産後母子の支援体制の整備を図る。	産後ケア助成制度の利用率	健康課
--------	----	--	--------------	-----

戦略3-18	18	特定不妊治療を受けた夫婦に対し、治療費から兵庫県の助成額を控除した額（上限5万円）を助成するほか、男性不妊治療に対しても助成する。	治療助成年間件数	健康課
--------	----	---	----------	-----

戦略3-19	19	健診助成費の上限の75,000円から95,000円への引き上げを継続実施する。	受診年間延べ件数	健康課
--------	----	---	----------	-----

ウ 市内への産婦人科医の確保に取り組むとともに、産後ケアの充実など安心して出産できる環境を整備します。 病院総務課

ワークショップ 産婦人科の復活はもちろんだが、市外で産んでも、産後は医療スタッフが充実した加西病院でケアができるような連携体制を構築できないか。産後の医療の充実も大切であり、産婦人科を復活させることは、若者誘致にも重要ではないかと思う。また、公立病院と地域の病院の役割分担が進むと良いのでは。

18	6	★開設費用に対する補助を行うことにより、市内に新たに産婦人科医院等を誘致し、安心して出産できる環境を整備します。	産婦人科医院等の開設	大日増政策課
----	---	--	------------	--------

戦略3-04	04	市内に新たに産婦人科医院等を開設する場合、開設時に要する費用の一部を補助する（産業振興奨励事業の医療機関版）。	産婦人科医院等の開設	大日増政策課
--------	----	---	------------	--------

政策 1 施策② 地域ぐるみの子育て支援の推進

基本構想との対応	P.14：また、近年は働き方改革の推進やライフスタイルの変容により、女性の社会進出やワーク・ライフ・バランスの取れた働き方の重要性も高まっています。性別や住んでいる場所によらない、自分らしい仕事と暮らしの両立ができる環境の整備が求められています。		
ア 地域ぐるみでの子育て支援体制の充実や子育てに関連する情報提供の強化、保護者の負担軽減に取り組むとともに、学校等との連携により充実した学童保育の環境づくりを進めます。			
市民会議	スマートフォン用の情報発信アプリの導入により、子育て情報を効率よく発信できるだろうが、アプリのPRやダウンロード数を増やすための工夫も検討いただきたい。		
21	5	学校との連携を強化し、学童保育を充実します。	学童保育受入率 こども未来課
21	7	保育料の無料化等、保護者の負担軽減を図ります。	保育料等の無料化対象年齢 子育て応援券制度対象者数 こども未来課 (人口増政策課)
21	9	地域の保育サポーターやプレイラーを養成します。	ファミリーサポートセンター協力会員数 こども未来課
21	17	★子育て情報の発信に努めます。	「子育てNAVI」1日平均閲覧数 こども未来課
戦略3-13	子育て支援のための支援メニューやイベント等の子育てに関する情報を、スマートフォンやハンドブック等で気軽に検索でき、支援やイベント等の情報が手軽に入手できるシステムや媒体を充実させる。		加西市総合支援アプリの「子育て」カテゴリ登録者数 こども未来課
戦略3-20	育児援助を受けたい人で行いたい人が互いに会員となり、子育てを地域で支援するファミリーサポート事業を強化する。		協力会員数 地域福祉課
戦略3-22	学童保育専用棟の整備等により受入れ体制を整備するとともに、小学1～6年生を対象に全校区で学童保育を実施する。		年間利用者数 こども未来課
イ 子どもの医療費自己負担の無料化の継続及び任意予防接種の費用助成の拡大に取り組みます。			
21	10	中学3年生までの医療費自己負担無料化について、継続して実施します。	中学3年生までの医療受診件数 国保医療課
戦略3-02	子どもが感染症にかかることを予防するとともに、保護者の経費負担の軽減を図るため、任意予防接種の予防接種費用を助成する。		接種助成制度の創設 健康課
戦略3-17	乳幼児（0歳～小3）、こども（小4～中3）の医療費の窓口負担分の一部を助成する県助成に加え、市独自の助成額を上乗せし個人の窓口負担を無料とする。		受診年間件数 国保医療課
ウ 乳幼児のいる世帯・多子世帯及びひとり親家庭など、子育て世帯の負担軽減に取り組みます。			
21	12	★ひとり親家庭の支援を行います。	ひとり親家庭の支援制度のメニューの充実 地域福祉課
21	18	★多子世帯及びひとり親家庭の下水道基本料金を減免し、子育ての経済的負担の軽減を図ります。	下水道基本料金の減免年間世帯数 人口増政策課
21	19	★乳幼児のいる世帯等に市指定ごみ袋を配布し、経済的負担の軽減を図ります。	ごみ袋年間支給枚数 人口増政策課
戦略3-01	核家族の子育て世帯等の移動手段を確保するため、妊婦及び未就学の子どもとの親について、ねっぴ～号の運賃を無料化する。		コミバス年間利用者数 人口増政策課
戦略3-05	ひとり親家庭が安心して子育てできる環境を整えるため、家賃補助、一時預かり支援、雇用機会創出などの支援策を連携強化する。		ひとり親家庭の支援制度の充実追加 地域福祉課
戦略3-14	就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第3子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金を減免する。		減免年間世帯数 人口増政策課
戦略3-15	おむつ等の使用の多い世帯に市指定ごみ袋を配布する。（おむつを使用する要介護認定者70枚/年、0～3歳児のいる世帯50～150枚、紙おむつの支給を受けている身体障害者70枚）		ごみ袋年間支給枚数 人口増政策課
エ 企業に対して、子育てに配慮した職場環境づくりに関する情報提供や啓発を行うとともに、子育てをしている親に配慮した、子育て応援企業の支援を行います。			
ワークジョブ	子育てしたいと感じられるためには、子育てしている人たちが働きやすい環境を整えていくことが大切である。託児しやすい環境や企業の理解と協力、地域における見守りがうまく機能することで、育児と就労が両立できる環境が充実するのではないか。高齢者にも協力してもらって、地域全体で昔ながらのあたたかい子育てができるような仕組みを構築してほしい。		
21	13	★子育て応援企業の支援を行います。	子育て応援企業セミナー年間参加者数 産業振興課
戦略3-07	子育て世帯にやさしいサービスの実施や、子育てしやすい職場の環境整備に取り組む企業を支援するため、アンケート等により実態把握のうえ、育児等の取得を促進するセミナー等を開催する。		セミナー年間参加者数 産業振興課

政策 1 施策③ 子育て環境の充実

基本構想との対応	P.18：認定こども園や学童保育においては待機児童の発生が課題となっています。保育士や支援員の確保を進め、子育て世帯のニーズに対応できる体制を構築していくことが課題となっています。		
ア 未来型児童館等の子ども・子育てを総合的に支援する拠点や、親子が遊び、交流できる場の整備を進めています。 <span style="float:right">こども未来課</span>			
ワーキング	子どもを持つ親同士のつながりが希薄だと感じるので、子どもの遊び場所や児童館など、人が繋がる場所をもっと増やしてほしい。		
21	1	★加西市の子ども・子育ての総合的な拠点施設として、未来型児童館を設置します。	子育てひろば事業・児童館の充実 <span style="float:right">こども未来課</span>
戦略3-06	子どもたちや若い子育て世代のニーズに合わせ必要な支援を選択して利用できる、加西市の総合子育て支援拠点施設として、未来型児童館を設置する。		児童館施設 <span style="float:right">こども未来課</span>
イ 教育・福祉・保健部門が連携した相談支援体制の強化と公営・民営の協調連携による幼児期の教育・保育提供体制の強化に取り組みます。 <span style="float:right">こども未来課</span>			
21	3	教育と福祉、保健部門とのネットワークを活かした子育て支援や療育相談の機能を高めます。	子育てひろば事業・児童館の充実 <span style="float:right">こども未来課</span>
21	6	認定こども園の整備による幼保一体化を促進し、民間活用も含めた保育・教育の拡充を進めます。	認定こども園の普及（園） <span style="float:right">こども未来課</span>
21	8	子育てひろば事業や病児・病後児保育等の利用を促進します。	病児病後児保育施設年間利用者数 <span style="float:right">こども未来課</span>
21	14	★「赤ちゃんの駅」の指定を行い、子育て支援を行います。	「赤ちゃんの駅」設置数 <span style="float:right">地域福祉課</span>
21	16	★空き家を活用した子育て支援を行います。	空き家を活用した子育て支援施設数 <span style="float:right">こども未来課</span>
戦略3-08	市内の公共施設（福祉会館・幼保施設等）、民間商業施設を「赤ちゃんの駅」に指定し、外出中のおむつ替えや授乳などで立ち寄ることができるようにする。		赤ちゃんの駅設置数 <span style="float:right">地域福祉課</span>
戦略3-10	第2期子ども・子育て支援事業計画に基づき、幼児期の教育・保育の質の確保・向上に努め、待機児童の解消を図る。		待機児童数 <span style="float:right">こども未来課</span>
戦略3-11	小規模保育事業や一時預かり施設として民間施設等を活用し、子育て支援の場として整備する。		子育て支援施設 <span style="float:right">こども未来課</span>
戦略3-12	保護者の働きやすい環境を整備し就業機会の拡充を図るため、病児病後児保育施設の充実や運営の安定化を図る。		病児病後児保育施設年間利用者数 <span style="float:right">こども未来課</span>
戦略3-21	認定こども園の民営化を進め、加西市幼児教育・保育の持続可能な発展と充実を図る。		公立こども園の園数 <span style="float:right">こども未来課</span>
ウ 遊びながら学べる屋内遊具施設を誘致し、雨の日でも遊ぶことができる環境を整備します。 <span style="float:right">人口増政策課</span>			
市民提言	幼児から小学生の雨の日の遊び場（体を動かせる場所）がない；東京上野の博物館のコンパスという幼児向けの場がよくできている。体を動かすアスレチックのようにできているが、それを行いなから動物の生態系や体のづくりも学べるというもの。体を動かすアスレチック（また、ボルタリング）と学びも提供する場である方が、近くの市からも来てくれるようになるかもしれない。		
21	15	★遊びながら学べる屋内遊具施設を誘致し、雨の日でも遊べる環境を整備します。	屋内遊具施設の誘致 <span style="float:right">人口増政策課</span>
戦略3-09	大規模商業施設内に遊びながら学べる屋内遊具施設を誘致し、手ごろな利用料金で雨の日でも子どもが遊べる環境を整備する。		屋内遊具施設の誘致 <span style="float:right">人口増政策課 産業振興課</span>

政策 2 施策④ 教育の質の向上

基本構想との対応	P.17：特色ある教育については、今後の国の動向や社会潮流もふまえ、小学校における外国語指導に向けた体制強化が課題となっています。また、特別支援教育として、切れ目のない支援体制の構築も求められています。		
ア 小・中・特別支援学校における国際理解を深める教育や一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実に取り組むなど、特色ある学習活動によって、生きる力を育む教育を推進します。			
市民会議	部活動の指導については、働き方改革の中、外部人材の顧問就任が可能になるなど時代の流れであるが、しっかり研修等をお願いしたい。		
05	2	小中教員の連携、外国人語学指導助手（ALT）の増員により、小中学校の外国語教育を充実します。	外国語指導助手の配置人数
05	5	個々の能力に応じた特別支援教育の充実を図ります。	特別支援教育担当者や特別支援教育コーディネーター等を対象とした研修の年間開催数
05	7	★特色のある部活や教室を設置します。	部活動の指導者研修会の実施数
戦略4-09	小学校での学習や生活を円滑に行えるよう、就学前教育と小学校教育の滑らかで確実な接続を図り、園・小・中が互いに教育の方向性を共有して、0歳から15歳までの子どもの発達を見通した教育体系を整備する。		合同研修会年間開催数
戦略4-12	加西市中学校部活動ガイドラインを策定し、現状の課題を克服し、生徒や保護者の多様化するニーズに対応できる枠組みを作る。		指導者研修会の実施回数
戦略4-13	教員が一人一人の児童生徒に向かい合う時間をより一層確保し、教育活動の充実と向上を推進するために、校務・業務のIT化や教師力向上のための研修の充実を図る。		校内研修の実施回数
新	新	※ICTを活用した学習の推進	学校教育課
イ 市内小中学校において一貫した教育を実現するため、学校間及び各校種間の連携強化を図ります。			
市民提言	近年の少子化の進行により、北条高校の定数減が見受けられる。教育の充実には市政の充実につながると思うので、地域の各中学と連携し、中高一貫教育などにシフトするのも検討材料になると考える。		
05	1	義務教育9年間を見通した小中連携強化及び小中一貫教育に対応した学習指導計画を推進し、保幼小、小中連携を強化します。	保幼小中連携強化に係る合同研修会の年間開催数
05	6	総合教育センターを活用し、校種間研修講座の増加と各種間の連携強化を図ります。	総合教育センターにおける年間研究講座数 校内研修の実施回数
ウ 地元高校との連携を強化し、活性化に向けた支援を行います。			
05	8	★地元高校の活性化を支援します。	アフタースクールゼミ受講者年間延べ人数
戦略4-14	放課後に塾講師が講習を行う「アフタースクールゼミ事業」などの支援を実施する。		ゼミ受講者年間延べ人数

政策 2 施策⑤ 教育環境の充実

基本構想 との対応	P.12：あらゆる世代が様々な情報手段により利便性を享受できる、障壁のない情報活用の環境づくりが求められています。		
ア 情報教育の環境を整備し、子どもたちの情報活用力の向上を図ります。			教育総務課
05	3	情報端末の整備により、子どもたちの情報活用力を向上させます。	教育用PC更新済校数 教育総務課
イ 安全な教育環境を実現するため、感染症対策に努めるとともに市内小中学校の耐震化や長寿命化を進めています。			教育総務課
06	1	すべての小中学校の旧耐震施設の耐震化を完了させた後は、避難所としての機能回復や教育環境改善を継続します。	学校耐震化率（鉄筋コンクリート・鉄骨造） 学校耐震化率（木造） 学校施設における太陽光発電容量（kW） 教育総務課
06	2	★学校施設の改修工事を計画的に行い、長寿命化を図ります。	改修工事の完了棟数 教育総務課
06	3	★南部学校給食センターの改築を行い、単独調理場の統廃合を行います。	単独調理場数 教育総務課
戦略4-11		耐震性の低い教育施設の耐震化を行うため、耐震補強工事と改築工事を行い、安全安心な学習環境を確保する。 学校施設に太陽光発電設備と蓄電池を設置し、停電時の非常用電源とエコ教育の教材として利用する。	耐震化率、発電容量 教育総務課
ウ 小中学校のあり方の検討を進め、これからの地域に相応しい学校の環境整備を図ります。			教育総務課 学校教育課

政策 2 施策⑥ 地域で子どもを守り、育てる仕組みの充実

基本構想 との対応	P.17：また、特別支援教育として、切れ目のない支援体制の構築も求められています。		
ア いじめ・不登校対策として、スクールカウンセラーや学校サポートチームによる相談・支援等を行います。			総合教育センター
新	新	※いじめ対策	総合教育センター
新	新	※不登校対策	総合教育センター
イ 地域全体での学校の支援や、地域に信頼される学校づくりの推進に取り組みます。			総合教育センター 学校教育課
市民会議	オープンスクールの参加者は学校により差があり、PRを充実させるとよい。学校は地域の中心といえ、コミュニティの核になるような努力を重ねていくべきである。		
07	1	ゲストティーチャー等の活用により地域全体で学校の支援に取り組みます。	ゲストティーチャーの延べ人数 学校教育課
07	3	学校評議員制度やオープンスクール等を通して地域に信頼される学校づくりを推進します。	オープンスクール年間開催数 学校教育課
戦略2-22	小中学校等の郷土学習や伝統芸能の鑑賞会、ボランティアガイド活動、トライやる・ウィークの体験等を通じて、地域の歴史・文化や地元企業の魅力への理解を深めることにより、ふるさと加西市への愛着や誇りを醸成する。		学校における地域人材(ゲストティーチャー)の活用人数 学校教育課
ウ 地域との連携・協力のもと、子どもの学習支援・体験活動の推進に取り組みます。			総合教育センター
01	5	★地域での子どもの共有活動を推進します。	土曜チャレンジ学習事業（校区） 総合教育センター
02	1	様々な地域事業に参画し、青少年活動事業の充実を図ります。	若者広場年間事業数 総合教育センター
02	2	地域のお兄さん、お姉さん、あるいはおじさん、おばさんとして、より近い立場で青少年に接していく青少年団体連絡協議会の育成と支援を行います。また青少年活動指導者の確保・育成を行います。	青少年団体連絡協議会登録者数 総合教育センター
07	2	小中学校内に地域の住民が立ち寄れる広場を設け、地域との交流を図ります。	校内交流広場設置数 総合教育センター
戦略4-10	小・中学校等で地域の人材・企業の協力を得て、土曜日等に教科の発展的な学習や様々な社会体験活動に取り組み、子ども達にとって有意義な土曜日の実現を目指す地域での共有活動を実施する。		学習事業実施箇所数 総合教育センター

政策 3 施策⑦ 生涯学習の充実

基本構想 との対応	P.17：自主的に学ぶ市民グループの参加者数が年々減少傾向にあり、会員数の増加と事業の活性化に取り組む必要があります。また、参加者増加に向けて、幅広い年代が参加できるようイベントの企画も必要となっています。		
ア 公民館を中心とした学習の機会を充実させるとともに、自主的に学ぶ公民館登録グループによる社会貢献活動を推進し、幅広い年代の方が利用しやすい環境を整えます。		生涯学習課	
ワーキンググループ	人生100年時代が叫ばれる現在において、生きがいを創造し、老若男女全ての人生をより豊かにしていくことが必要である。新しい施設を整備するのではなく、公園や公民館など既存の資源をより気軽に利用できるようにし、生涯学習や文化・スポーツの多様な機会や場所をつくっていくことが求められる。		
01	1	公民館を中心に生涯学習機会の充実と情報発信を推進します。	公民館主催年間講座数 生涯学習課
01	2	公民館登録グループによる社会貢献活動推進のため、研修会やコーディネート等の活動支援を行います。	公民館登録グループ社会貢献活動コーディネート制度（公民館出前講座）参加グループ数 生涯学習課
16	1	定年退職世代の技能を役立てる情報提供や就労講座を実施します。	高齢者講座年間受講者数 生涯学習課
戦略4-15	公民館活動や芸術・文化団体・サークルと連携して、生涯学習活動の一層の充実を図る。		公民館主催年間講座数 生涯学習課
イ 幅広く高度な情報が提供できるよう、図書館サービスの拡充に努め、図書館の活性化を図ります。		図書館	
01	3	幅広く高度な情報が提供できるよう館外における図書館サービスを拡充します。また、播磨管内図書館での貸出が可能となり、読書の機会充実に努めます。	年間図書館来館者数 図書館

政策 3 施策⑨ 芸術・スポーツの振興

基本構想 との対応	P.17：自主的に学ぶ市民グループの参加者数が年々減少傾向にあり、会員数の増加と事業の活性化に取り組む必要があります。また、参加者増加に向けて、幅広い年代が参加できるようイベントの企画も必要となっています。		
ア 生活の様々な場面において芸術文化を感じることでできる環境づくりや、高齢者や障がい者を含めたスポーツ、レクリエーション活動の推進に取り組みます。		文化・観光・スポーツ課	
ワークシヨップ	生涯学習や文化・スポーツの促進にあたっては、活動の中核となる人材が不可欠である。スキルを持つ人から指導を仰ぎ、リーダーを育てていく、または知識を継承していくなど、人を育てる視点で取り組みを進めてほしい。		
01	4	芸術文化の薫り高い市民生活を創出します。	加西市文化祭参加者人数 文化・観光・スポーツ課
03	3	高齢者や障がい者を含めたスポーツ、レクリエーション活動を推進します。	スポーツ教室の年間参加人数 文化・観光・スポーツ課
11	7	★緑豊かな森の中に、市のキャラクターをモチーフとするアート空間の整備を推進します。	根日女の森整備構想とりまとめ 大目増政策課
戦略2-03		緑豊かな森の中に、市のキャラクターマークの根日女をモチーフとするアート空間の整備を具体化する。併せて、絵画、デザイン等のコンテスト等各種イベントや企画展、地元若手作家の個展も開催し、芸術・文化事業の推進を図り、交流人口の拡大を目指す。	整備構想とりまとめ 大目増政策課
イ 総合体育館の整備や既存施設の改修を行い、身近な場所でスポーツを楽しむ機会を拡充します。		文化・観光・スポーツ課	
ワークシヨップ	生涯学習や文化・スポーツの促進にあたっては、活動の中核となる人材が不可欠である。スキルを持つ人から指導を仰ぎ、リーダーを育てていく、または知識を継承していくなど、人を育てる視点で取り組みを進めてほしい。		
03	1	住民のニーズに合わせた施設の有効活用を行い、住民が身近な場所でスポーツを楽しめる機会を拡充します。	市が所管するスポーツ施設の年間利用者数 文化・観光・スポーツ課
ウ 地域に密着して活動するスポーツ団体の指導者を養成し、活動を支援します。		文化・観光・スポーツ課	
ワークシヨップ	生涯学習や文化・スポーツの促進にあたっては、活動の中核となる人材が不可欠である。スキルを持つ人から指導を仰ぎ、リーダーを育てていく、または知識を継承していくなど、人を育てる視点で取り組みを進めてほしい。		
03	2	地域に密着して活動しているグループのリーダーや指導者を養成し、活動を支援します。	指導者養成講座の参加人数 文化・観光・スポーツ課

政策 3 施策⑨ 健康増進の推進

基本構想 との対応	P.18：健幸ポイント事業については、参加者数は継続して増加しており、今後も市内施設やイベントと連携しながら、参加者の拡大を図っていき、まち全体での健康増進に取り組んでいます。		
ア 市民の健康づくりに対する意識醸成に取り組むほか、こころの健康についての支援体制を整えます。			健康課
17	2	予防接種の助成制度を拡充します。	接種助成制度の創設数 健康課
17	3	健診後の結果を生活に活かせるように食生活、運動の相談支援体制を充実します。	運動を心がけている人の割合 健康相談事業の利用者数 健康課
17	6	こころの健康についての理解を深め、こころの問題を早期に対応できるよう、支援体制を整えます。	自殺率の減少 健康課
17	7	健診や教室を通じて各世代に望ましい食習慣確立のための支援を行います。	朝食を欠食する人の割合 野菜を毎食食べる人の割合 栄養相談実施人数 健康課
イ 市民が歩いて暮らす健康づくりのための拠点施設や環境の整備を推進します。			健康課
ワークショップ	歩くことや体操などは高齢者を元気にすると思う。現在のポイント事業の付与、イベントを拡充するなど、運動ポイント事業・サロン活動、いきいき百歳体操などの内容を見直し広めることで、高齢者が元気に暮らせるまちづくりを推進する。		
17	5	健康づくりのための拠点施設を充実します。	運動事業参加者実人員 健康課
17	9	★歩くまちづくりの推進のため、市民の誰もが歩いて暮らす健康づくりの環境整備を進めます。	健幸ポイント事業参加者数 健康課
戦略4-06	「健幸都市」の実現のため、市民誰もが歩いて暮らすことを基本とした健康づくりを目指し、きっかけづくりとなるポイント事業の展開、歩きたくなるまち並みの整備、歩道や街灯の整備、ウォーキング・ジョギングコースや温浴施設を備えた総合スポーツ施設の充実等を図る。		健幸ポイント事業参加者（6年間の累計） 健康課
ウ 市民の各種健診への受診率向上を図るとともに、地域の健康づくりを目的とした、自主的な地区組織活動を支援します。			健康課 国保医療課
17	1	特定健診やがん検診、歯周疾患検診等の受診率向上のための制度を充実します。	がん検診受診率 がん検診の無料クーポン利用率 特定健診受診率 健康課 国保医療課
17	4	地域の健康づくりを目的とした自主的な地区組織活動を支援します。	自主組織（いずみ会・ゆうゆう会）による健康づくり普及実績数 健康課 国保医療課
戦略4-07	健康長寿社会づくりを推進するため、節目年齢へのがん検診無料クーポン券の配布を継続し、がん検診受診が市民の健康づくり習慣となるためのきっかけづくりを図る。		無料クーポン利用率 健康課
エ 学校給食などでの地産地消、食の安全確保や、食育、健康教育の推進を図ります。			教育総務課 学校教育課

政策 4 施策⑩ 高齢者福祉の推進

基本構想との対応	P.12：全国的な人口減少と少子高齢化が進行する中で、特に福祉分野における負担増と人材不足が大きな問題として認識されていますが、兵庫県や全国平均よりも高齢化率の高い本市においては、上記の問題は喫緊の課題 P.18：今後想定される高齢化の進行に対応できるよう、福祉に対する理解促進や人材確保の取組は継続して実施する必要があります。		
ア 配慮を必要とする方やその介護者を支援するための総合的な支援体制を構築するとともに高齢者が孤立することのないよう地域に密着した取り組みを推進します。		長寿介護課	
市民会議	配食サービスを受ける利用者の範囲を拡大したことは評価できる。また、介護支援のサービス等においても高齢者が増加する中、地域と連携して対応していくことが重要になる。		
16	3	高齢者自身が企画運営を進める事業を支援します。	高齢者ボランティア数 長寿介護課
19	1	高齢者や障がい者、及びその介護者を支援するため、総合的な支援体制を強化します。	生活介護サービス利用者数 相談窓口寄せられた相談者数 長寿介護課 地域福祉課 福祉企画課
19	2	ひとり暮らしや高齢者夫婦世帯へ地域に密着した配食サービスを拡充します。	配食サービス配食数 長寿介護課
19	3	要介護高齢者の通院等外出支援のために移送サービスを充実します。	高齢者外出支援サービス事業年間利用延べ件数 長寿介護課 地域福祉課
19	4	地域の介護予防リーダーの養成とその活動を支援します。	介護予防リーダー養成数 長寿介護課
19	6	★あったか声かけ作戦を推進します。	あったか声かけ作戦の実施地区数 長寿介護課
イ 高齢者が自分らしく暮らすことができるよう、就業機会の拡充や住民主体での地域活動の推進に取り組みます。		長寿介護課	
市民会議	高齢者の就業機会は一定程度あるが、企業での雇用延長を選択する人が増えてきたため、シルバー人材センターの会員数が減ってきている。シルバー人材の活用方法について再度検討する必要がある。		
16	2	シルバー人材センターとの事業連携を進め、高齢者の就業機会の開拓、拡充を支援します。	シルバー人材センター会員数 長寿介護課
16	6	★シニア世代の定住化の推進の一環として、地域資源を活かした加西市に相応しいC-C-R-C構想の具体化を図ります。	C-C-R-C整備構想とりまとめ 大日増政策課
19	5	★大学等との連携による高齢者の介護支援（介護予防）を進めます。	連携カフェ年間開催件数 長寿介護課
戦略2-09	シニア世代の定住化の推進の一環として、加西市に相応しい日本版C-C-R-C構想の具体化を図るため、地域資源を活かした農園での農作業、ゴルフ場、医療・介護事業者や大学との連携方策等の導入可能性を調査するとともに、住み替え促進税制の動向やふるさと住民票制度構想の活用など、幅広く検討のうえ実施するものとする。		整備構想とりまとめ 大日増政策課
戦略4-08	高齢者等の介護支援の充実を図るため、空き家や町公民館等身近な場所で実施する高齢者サロン、認知症カフェへの学生参画を推進することにより、効果的に介護予防施策を実施し、地域住民との交流や活躍にもつなげていく。		連携カフェ年間開催件数 長寿介護課

政策 4 施策① 障がい福祉・地域福祉の充実				
基本構想 との対応		P.12：全国的な人口減少と少子高齢化が進行する中で、特に福祉分野における負担増と人材不足が大きな問題として認識されていますが、兵庫県や全国平均よりも高齢化率の高い本市においては、上記の問題は喫緊の課題		
ア 障がいのある方など、配慮を必要とする人の地域生活移行や社会参画の促進に向け、就労機会の拡充や、様々な機会における合理的配慮の提供に取り組みます。				地域福祉課
16	4	障がい者団体の活動活性化と支援を拡充します。	障がい者サロン年間参加者数	地域福祉課
16	5	社会参画機会の拡大と環境づくりを進めます。	就労系サービス利用者数	地域福祉課
イ 社会福祉協議会やふるさと創造会議との連携のもと、「あったかシステム」を中心とした、小地域福祉活動の充実を図ります。				福祉企画課
新	新	※「あったかシステム」の取り組み		福祉企画課
ウ 経済的に困窮している方が自立した生活を送ることができるよう、就労支援や経済的支援等の自立支援に取り組みます。また、コミュニティにおける地域の見守りや居場所づくりにも取り組みます。				地域福祉課
新	新	※生活困窮者への支援		地域福祉課

政策 4 施策⑫ 保健・医療体制の確保

基本構想との対応		P12：医療や福祉、働き方、行政運営など、様々な分野において、今以上に便利で効率的になる、ライフスタイルの新しいステージである“Society5.0”への移行が期待されています。		
ア		加西病院の改築整備を行うとともに医療従事者の確保と安全な医療体制を構築し、健全で着実な病院運営の実現を目指します。また、近隣病院、診療所との連携を強化します。		加西病院
18	1	医療者の確保と安全な医療体制を構築し、新病院改革プランの策定と着実な病院の運営を実施します。	病床利用率	加西病院
18	2	高度医療の充実と、近隣病院、診療所との連携を強化します。	加西病院への年間紹介患者数	加西病院
イ		県や医師会等との連携強化や、保健・医療・福祉・介護等の関係機関との連携により、サービスが適切に受けられる地域医療体制を確保します。		健康課 福祉企画課
18	3	県、医師会、病院との連携を強化します。	病院・診療所数	健康課 福祉企画課
18	4	保健、医療、福祉、介護等との連携を密にし、これらのサービスが適切に受けられる体制を確保します。	地域医療市民フォーラム参加者数	福祉企画課 健康課 長寿介護課
18	5	医師会、歯科医師会による休日や年末年始の医療体制を確保します。	休日及び年末年始の医療体制・加西市医師会・加西市歯科医師会2団体の維持	健康課

## 基本方針 2 活力とにぎわいのあるまちを育む

### 政策 5 施策⑬ 農業従事者の確保と育成

基本構想 との対応	P.18：農業従業者の拡大に向けて、関係機関へのPRだけでなく、都市農村交流に係る取組や様々な媒体を活用したPRの強化が必要となっています。		
ア		生産者を対象とした経営の指導のほか、6次産業化に向けた支援の充実を図り、就農者の資質向上に取り組みます。	農政課
08	2	生産、加工、販売の一体的な6次産業化に向け、講座や研修の充実を図り、起業家への支援を行います。	高付加価値品種育成数 農政課
戦略1-20		加西市に就農を希望する研修生を受け入れる農業者に5万円/月（最長12月）を補助する。	研修生年間受入者数 農政課
戦略1-24		J A等の農業関係機関と協力し、新規就農者をはじめとする若手農業者向けの経営指導や特産野菜の生産普及のための栽培指導を実施する。	指導講習会年間開催数 農政課
イ		若い世代や女性も含めた新規就農者の支援に努めるとともに、法人の設立と参入を推進し、就農希望者の研修受入制度や市民農園をPRしていきます。	農政課
市民会議		市民農園の潜在ニーズはあると思われるが、加西市に足を運んでもらうために特徴のアピールが欠かせない。	
市民会議		新規就農を、若い人の価値観として、生きがい重視で自分のやりたいことをする傾向や、趣味の世界からの発展としてつなげられるようにしてはどうか。	
08	3	新規就農希望者への研修受入制度や市民農園利用について、全国的なPRに努めます。	市民農園年間利用区画数 新規年間就農者数 農政課
戦略1-18		不動産会社や各地元と連携して新規就農希望者への空き家と貸出農地を一体的に斡旋する。	新規年間就農者数 農政課
戦略1-21		新規就農者に①経営が安定するまでの生活費補助（1年目15万円/月、2年目10万円/月、3年目5万円/月）、②機械導入補助（経費の1/2、上限300万円）、③農地賃借料補助（1万円/10a、3年限度）、④家賃補助（12,000円/月、3年限度）を補助する。	新規就農者年間数 農政課
戦略2-10		阪神間から近い距離にある加西市において、市民農園の整備による農地の有効活用を図り、併せて空き家を活用した滞在も可能とすることで都市との交流を促進することにより、交流人口を増やすとともに二地域居住や定住化につなげる。	市民農園年間利用区画数 農政課

## 基本方針 2 活力とにぎわいのあるまちを育む

### 政策 5 施策⑭ 農業経営の支援

基本構想との対応	P.7：地方における人口減少に歯止めをかけるため、全国の自治体で移住・定住の促進や交流人口の増加に向け、地域資源を活用しながらまちの魅力を向上し、広く発信する取組が進められています。			
ア 農地の利用集積支援、営農組織化や法人化の推進、農業用機械や施設整備にかかる補助の拡充など、農業経営の持続可能性を確保する支援を進めていきます。 農政課				
08	4	法人の設立と参入を推進するとともに、新規就農希望者の雇用の促進に努めます。	農業法人数、加西市就農研修生年間受入者数、新規就農者支援事業補助金の年間受給者数	農政課
08	5	認定農業者や農業法人への農地の利用集積を支援し、補助制度を充実します。	農用地利用権設定面積	農政課
08	6	多様な農家が共存し、安心して住み暮らせる共同体による農村環境を整備します。	多面的機能支払交付金事業への参加団体数	農政課
イ 農業の所得拡大とまちのPRを目的として、地元農作物のブランディングを進めるとともに、主要農作物生産者に対して助成を行います。 農政課				
団体とリンク	農業者の所得増大、農業生産の拡大に向け、主要振興作物（水稲・小麦・黒大豆・アスパラガス）を核とした地域振興作物の拡大を図り、生産コストの低減を行っていくため、市として振興作物への助成を継続、拡大していただきたい。			
戦略1-17	1次産業としてだけでなく、加工品販売等の6次産業化も視野に入れた、高付加価値を生む品種の生産者に対して支援を行う。		高付加価値品種育成数（6年間の累計）	農政課
戦略1-25	トマト、イチゴ、ぶどう、にんにく等の地元特産品や、地元特産品を使用した加工食品の生産を拡大するとともに、市内レストランでの料理の提供も進め、地元ブランド品による加西市の知名度アップを推進する。		加西産農産物提供店舗数	農政課
ウ 地元農産物を食材利用する事業者への支援や学校給食への提供などにより、地産地消や食育を推進します。 農政課				
08	8	★「食と農」に関連する分野等の大学のサテライトキャンパスを加西市へ誘致します。	サテライト機能の具体化（大学数）	大目増政策課
09	1	地元農産物を食材利用する事業者を支援します。	加西産農産物提供店舗数	農政課
09	2	地元農産物の学校給食への提供等、地産地消事業を推進します。	市内小中学校における食育授業の時間数	農政課
戦略2-07	若者の流入を目的として、「食と農」に関連する分野等の大学のサテライトキャンパスを加西市へ誘致する。		サテライト機能の具体化	大目増政策課

## 基本方針 2 活力とにぎわいのあるまちを育む

### 政策 5 施策 ⑮ 農業環境の充実

基本構想との対応	P.12：情報通信技術（ICT）の飛躍的な発達と、情報通信機器の普及・多様化により、人々の生活、経済活動、サービス、社会の仕組みなどが大きく変化しています。		
ア ICT技術等を活用して、省力・高品質生産を実現する新たな農業の普及に取り組みます。 <span style="float:right">農政課</span>			
ワーケーション	加西は工業・農業など産業でよいものを持っており、その発展のためにICTなど農業の効率化を図ってはどうか。また、加西で働きかけづくりとして工業科を設置し、学生の頃から就職の選択肢を増やすことで、人口増につなげられるのでは。そうすると、就業者の居住の確保が必要になるため、空き家を活用することで需要と供給のバランスがとれると良いと思う。		
08	7	★ICTを活用した施設園芸の普及に努めます。	施設園芸新設数 <span style="float:right">農政課</span>
戦略1-19	次世代施設園芸モデル団地の成果を活かし、地域でのICTを活用した野菜等の施設園芸の普及促進を図り、農業の核として育成する。		施設園芸年間新設数 <span style="float:right">農政課</span>
イ ため池の耐震化、農地維持や農業用施設の長寿命化のほか、有害鳥獣対策の強化など、安定した農業経営を実現するための環境づくりに取り組みます。 <span style="float:right">農政課</span>			
22	1	住民参加による地域の里山整備を支援します。	里山整備箇所数 <span style="float:right">農政課</span>
22	4	老朽化による決壊等、危険度の高いため池を順次改修します。	ため池改修箇所数 <span style="float:right">農政課</span>
22	5	有害鳥獣対策による農作物の被害を防ぐために関係機関との連携を図ります。	有害鳥獣年間被害額 <span style="float:right">農政課</span>
22	6	耕作放棄地の解消と農地の有効利用を進めます。	耕作放棄地面積 <span style="float:right">農政課</span>

## 基本方針 2 活力とにぎわいのあるまちを育む

### 政策 6 施策 ⑯ 商工業の振興

基本構想 との対応	P.14：まちの活性化や雇用創出という点からも、コロナの影響に対する緊急支援だけでなく、新しい生活様式に対応した市内事業所の経営支援は重要な課題です。			
ア 商工業の振興と地域経済の活性化を目指して、企業のデジタル化等の設備投資や事業拡大に向けた支援に取り組みます。			産業振興課	
09	3	地域ビジネス講座を拡充します。	製造品出荷額等	産業振興課
09	6	中小企業事業資金融資制度の見直しと拡充を行います。	製造品出荷額等	産業振興課
戦略1-23		金属製品製造や電気機械器具製造等をはじめ、独自のノウハウ・技術に支えられた特徴ある地域産業に対し、融資あっせんや人材育成・土地利用規制の見直し等の支援を推進する。	製造品出荷額増加率（6年間の累計）	産業振興課 開発推進課
戦略1-26		商工会議所等と連携し、地域の中小企業が事業拡大や新規雇用を行うための支援を推進する。	製造品出荷額増加率（6年間の累計）	産業振興課
イ 市内消費の喚起を目的として、ポイントカード事業や市内共通商品券の発行等に取り組みます。			産業振興課	
09	5	ポイントカード事業、ネットモール運営事業を支援します。	卸売業・小売業年間販売額	産業振興課
ウ 魅力ある商業施設の誘致を進めるとともに、市外からの観光客を受け入れるための宿泊施設等のさらなる充実に取り組みます。			産業振興課	
09	8	宿泊施設の充実とホテルの誘致を推進します。	ホテル設置数	産業振興課
09	9	★魅力ある商業施設の誘致を図ります。	卸売業・小売業年間販売額	産業振興課
戦略2-04		賑わいのある空間を創出するため、魅力ある商業施設の誘致を図り、地域の活性化と生活の利便性の向上を図る。	卸売業・小売業年間販売額	都市計画課 産業振興課

## 基本方針 2 活力とにぎわいのあるまちを育む

### 政策 6 施策⑦ 創業支援

基本構想 との対応	P.8：まちの活性化や雇用創出という点からも、コロナの影響に対する緊急支援だけでなく、新しい生活様式に対応した市内事業所の経営支援は重要な課題です。 P.18：加西インター産業団地については、人口増と産業振興の両面において大きな期待が寄せられており、計画通りに開発を進めていくことが重要です。		
ア 創業希望者に対して、関係機関との連携のもと、相談や指導助言、空き店舗やオフィス補助などの創業支援を実施します。			産業振興課 人口増政策課
10	10	★創業希望者に対する支援体制を構築します。	年間創業者数 産業振興課
12	4	空き店舗やオフィス補助制度をはじめとした創業支援を実施します。	市街化区域内の商業店舗立地件数 宅地供給促進補助制度を活用した新設店舗数 店舗等立地促進補助金受給件数 空き店舗活用補助金受給件数 産業振興課 人口増政策課
戦略1-11	店舗等を建築する方に、自己の所有する土地を売却した者に対し、譲渡所得の3%相当額を補助する。		新設店舗数（6年間の累計） 人口増政策課
戦略1-14	店舗及びオフィスを立地する者に、土地・建物の取得費の一部及び市民新規雇用に対する補助金を交付する。		補助金受給件数（6年間の累計） 産業振興課
戦略1-15	空き店舗を活用して新規出店する者に、賃借料及び改装費の一部並びに市民新規雇用に対する補助金を交付する。		補助金受給件数（6年間の累計） 産業振興課
戦略1-16	商工会議所や金融機関等と連携し、創業希望者に対する支援を行う。		年間創業者数 産業振興課
イ 若者等の起業や事業承継のための支援に努めます。			ふるさと創造課 産業振興課
10	9	★若者等の起業支援や後継者育成のための支援に努めます。	若者起業調査支援年間件数 ふるさと創造課
戦略1-13	若者等の起業支援や後継者育成のため、若者・女性起業調査助成制度、若者起業サポート窓口による支援を実施する。		支援年間件数 産業振興課
新	新	※事業承継に関する取り組み	産業振興課
ウ 地元企業も進出しやすい産業用地の整備の支援、市内企業の拡張・移転の支援に取り組みます。			都市計画課 開発推進課
09	7	地元企業も進出しやすい新規産業団地を整備するとともに、市内企業の拡張の支援に努めます。	市内総生産（名目） 都市計画課 開発推進課
戦略1-10	市内の産業用地等を拡充・創出するため、土地利用規制を見直し企業誘致を進める。併せて雇用奨励金を付加する等、現行の産業振興奨励事業を拡充し、企業誘致を促進する。		用地供給面積 人口増政策課 産業振興課 開発推進課
戦略1-27	中国自動車道や山陽自動車道のインターチェンジに近いことから、宅配業・流通業の立地が進んでいるが、一層の集積を図るための誘致活動を強化する。		用地供給面積 産業振興課 開発推進課
エ 加西インター産業団地整備を進め、企業誘致等について計画的に取り組みます。			開発推進課 都市計画課
市民会議	市内の製造業は、県下でも有数の優秀な地域であり、インター周辺の産業団地の早期供給が望まれる。		
団体ヒアリング	加西市は働く場所が少なく、給料も都会より低いので、若い人が今後の人生設計を立てられない。そのため市外に住むという選択肢を選んでしまう。製造業だけでなく、いろんな職種の人が働ける企業を誘致できれば良い。		
13	4	交通の要所として、市民と協働で加西インター周辺の土地利用計画を作成します。	加西インター周辺の土地利用計画の作成数 開発推進課 都市計画課
戦略1-09	農業の振興と両立した魅力ある雇用先の創出と定住人口増加を図るため、加西インター周辺に産業団地の整備を推進する。		分譲面積（1-1、1-2、2、4工区） 開発推進課

## 基本方針 2 活力とにぎわいのあるまちを育む

### 政策 6 施策 18 雇用・勤労者福祉の充実

基本構想 との対応	P.14：一方で、近年は従業者数は年々減少傾向にあり、一部近隣市よりも低い水準で推移しています。		
ア		多様な媒体を通じて就職に関する情報提供を進め、市内における雇用の促進を図ります。	産業振興課
10	2	働きたい仕事が見つかるよう求人情報を通勤手段別に整理し、情報量や提供範囲を広げて利用機会を高めます。	ふるさとハローワークにおける就職者数
戦略1-01		市内企業における地域内の雇用を促進するため、市内企業の広報を進めるとともに、新規の正規採用者について企業への支援を行う。	市内事業所高校生新卒正規社員年間採用者数
戦略1-07		加西市就職ナビ等の開設により、広い地域の学生に市内の企業情報や求人情報を発信し、人材の確保を図る。	市内事業所従業員市内居住率
イ		女性や若者、高齢者、障がいのある人などの就職に向けた支援を関係機関と連携し実施します。	産業振興課
団体とリンク		働く場所の確保。住む場所の確保。	
10	1	新卒者等若者へ多様な媒体を通じて魅力ある市内企業就職情報を提供します。	若者の加西市残存定住率 勤労者の定住促進による市内事業所従業員市内居住率
10	3	若者が働きたくなる産業の創出、誘致を推進します。	市内企業における住民就労率 若者就職支援事業による市内事業所従業員市内居住率
10	5	★市内企業への高校生の就職を支援します。	市内事業所高校生新卒正規社員年間採用者数
ウ		U J I ターンによる就職・起業など、市外からの就業に向けた取り組みを推進し、定住促進を図ります。	産業振興課
戦略1-03		市内事業所で働く正規雇用者の市内への定住促進を図るため、地域内雇用を推進する事業所を対象とした支援を行う。	市内事業所従業員市内居住率

## 基本方針 2 活力とにぎわいのあるまちを育む

### 政策 7 施策 ⑩ 歴史・文化の再発見と交流拡大

基本構想との対応	P.18：本市の戦争遺産群については、観光資源としての価値と、平和教育の資源としての側面を有する一方で、その歴史的経緯や生活圏に立地しているという地理的条件からも、市民の理解を得ながら活用していく必要があります。			
ア 「加西市文化財保存活用地域計画」をもとに歴史文化遺産を活かしたまちづくりと、計画的な保存・活用を推進します。			生涯学習課	
11	1	地域文化財保存会や研究会等の団体による歴史文化遺産を継承・活用する活動を支援します。	文化財の新規指定・登録件数	生涯学習課
11	2	★歴史文化基本構想を策定し、歴史文化を活かしたまちづくりと観光資源化を図ります。	歴史文化遺産の調査	生涯学習課
15	2	史跡を計画的に整備し、活用を図ります。	史跡玉丘古墳群における整備する古墳の基数	生涯学習課
戦略2-01	鶺野飛行場跡地及び周囲の戦争遺跡を一体的に観光整備するほか、地域活性化の拠点となる施設を整備し、市内外観光客と地域住民との交流の場を創出する。		観光誘客年間数	鶺野未来課
イ 加西市独自の地域資源を活用した観光サービスを展開するとともに、観光拠点のネットワーク化など、観光振興の仕組みづくりにも取り組みます。			文化・観光・スポーツ課	
ワークショップ	加西の産業である農業の体験を観光とつなげる、体験型観光はどうか。加西のくらしを体験できるなどいろいろなプログラムをつくり、観光客と市民が交流できると良いと思う。また、現在いくつかある資源をどうまとめてプランディングするかをもっと話し合い、対象者に合わせた情報発信を考える必要がある。今後は、観光拠点へのフリーWiFiの導入が必要になると思う。			
団体ヒアリング	便利さと都市と競い合っても仕方がないので、例えば田舎の良さや古民家の良さをアピールするのも一手である。			
市民会議	鶺野飛行場跡地周辺を観光スポットにするのであれば、観光客が来やすいように交通アクセスを整備することが必要である。			
11	4	特色ある観光サービスを推進し、住民との協働により観光推進基本計画による事業展開を図ります。	加西喝采ブランド品数	文化・観光・スポーツ課
11	5	★田舎体験の実施により、地域振興を図るとともに、地域の魅力を発掘し高めることにより、交流を促進します。	かさいまちあそび年間参加人数 田舎体験プログラム年間参加人数	文化・観光・スポーツ課
11	6	★観光拠点のネットワーク化を図ります。	観光施設Wi-Fiスポット数	文化・観光・スポーツ課
23	1	市内の観光資源をガイドブック化して、周知を強化します。	観光関連パンフレット、ガイドブック作成数	文化・観光・スポーツ課
23	2	ふるさと加西の魅力再発見事業を展開します。	フォトコンテストへの出品数	文化・観光・スポーツ課
戦略1-22	農家民泊も含めた田舎体験プログラムの実施により、地域振興を図るとともに、地域の魅力を発掘し高めることで、UJターンを促進する。		プログラム年間参加人数	文化・観光・スポーツ課
戦略2-02	観光拠点のネットワークを図るため、ルート化、交通アクセスの整備、自動販売機等を活用した無料WiFiスポット整備などを進めるとともに、滞在型の観光を推進するため、ホテル等の宿泊施設の充実を図る。		観光施設WiFiスポット数	文化・観光・スポーツ課
戦略2-05	事業者との提携を促進し、年間約60万人の利用がある中国自動車道の加西サービスエリアで、物産販売をはじめ加西市のPRを積極的に行う。		PRブース年間開設数	文化・観光・スポーツ課
戦略2-21	地域の日常にある「大切なもの」や「地域の素晴らしさ」を体験して、加西の魅力を発見・再発見するため、「かさいまちあそび」をテーマとして市内で行われている様々な活動を観光の視点から取り上げて展開する。		年間参加人数	文化・観光・スポーツ課
ウ 北条旧市街地の活性化や市内宿泊施設の活用などを進め、まちのにぎわいづくりに取り組みます。			きてみて住んで課	

## 基本方針 2 活力とにぎわいのあるまちを育む

### 政策 7 施策⑩ 移住・定住の支援

基本構想との対応	P.8：本市では慢性的な人口流出が続いており、1986（昭和61）年度の53,056人をピークとして人口の減少が続いています。		
ア 転出の抑制と移住の促進のため、奨学金返還など各種支援に取り組みます。			人口増政策課
団体とリンク	U J I 奨学金に関わらず、移住者全体に補助を与えてはどうか。		
10	7	★返還している奨学金への助成により、U J I ターンによる定住を促進します。	U J I ターン者数 人口増政策課
戦略1-06	加西市にUJIターンし市内に居住している場合、返還している奨学金の1/3を補助する。		UJIターン者数（6年間の累計） 人口増政策課
イ 若者の住居確保をサポートする取り組みを推進します。			きてみて住んで課
13	3	若者向けの持ち家促進のための取り組みを推進します。	加西市若者世帯持家促進補助制度の受給者数 新婚世帯向け家賃補助金の年間新規受給者数 きてみて住んで課
戦略3-25	合計年齢が80歳以下の夫婦が住宅を取得した場合、最大50万円補助する。		補助金年間受給者数 きてみて住んで課
戦略3-27	12,000円/月を上限に最長3年間家賃補助する。		補助金年間新規受給者数 きてみて住んで課
ウ 若い世代の定住を促進するため、若者の夢の実現を支える支援を進めます。			きてみて住んで課 ふるさと創造課
10	8	★若者の夢の実現や地域活性化、定住促進を図るための支援に努めます。	若者チャレンジ事業助成制度による支援年間件数 コンサート等の入場者数 ふるさと創造課 文化・観光・スポーツ課
13	1	移住体験施設（お試し住宅）の整備に取り組み、定住促進に結び付けます。	お試し滞在施設数 移住マッチング支援相談年間件数 空き家改修年間助成数 お試し滞在補助年間助成組数 きてみて住んで課
13	8	★定住先の決まっていないカップルを対象に市内の不動産情報の提供等を通じて定住促進を図ります。	かさいふたリズム推進事業年間利用件数 ふるさと創造課
戦略1-12	主に10～30歳代の若者を対象に、「であう、くらす、はたらく、まなぶ」をテーマに、サポート団体と連携して、若者の夢の実現や地域活性化、定住促進に向けた若者チャレンジ事業助成制度による支援を実施する。		支援年間件数 ふるさと創造課
戦略2-12	市外からの定住化の誘導をはかるため、相談窓口設置やワンストップサービス化等により、移住のマッチング支援等の充実を図る。		相談年間件数 きてみて住んで課
戦略2-11	地域の歴史や文化に触れる機会を提供することで、市外からの移住を促進するため、移住を希望する方が、市内の宿泊施設で一定期間滞在する費用の一部を補助するほか、空き家屋を活用したお試し滞在施設を設置する。		お試し滞在年間補助件数 きてみて住んで課

## 基本方針 2 活力とにぎわいのあるまちを育む

### 政策 7 施策 ② 空き家・空き店舗の利活用

基本構想 との対応	P.18：安全かつ快適な都市環境を構築するために、空き家対策や公共交通の充実も求められています。			
ア 関係団体との連携のもと、空き家相談体制の強化や空き家バンク制度の定着を図ります。		きてみて住んで課		
団体とリンク	空き家について不動産だけでなく、建設会社にもリノベーション情報が届くようにする。			
市民会議	空き家バンクは需要と供給が合っていないように思う。需要を高めるためには加西市全体の魅力を高め、加西市に住みたいから空き家を探すというような仕組みづくりが必要である。			
12	5	空き家バンク制度の定着を図り、情報提供に努めます。	空き家バンクの年間登録数	きてみて住んで課
戦略2-15	行政の機能(居住希望者と地域住民との調整)と市内不動産事業者の強み(調査・仲介・情報発信等)を活かし新たに整備した空き家バンク制度を運営する。		空き家バンク年間登録数	きてみて住んで課
戦略2-16	市民が安全・安心に暮らせるまちづくりを推進するため、加西空き家対策専門家協議会「え〜がい加西」と連携し、予防も含めた空き家に関する相談のワンストップ化を推進する。		年間相談引渡件数	きてみて住んで課
イ 空き家・空き店舗を幅広く活用したまちづくりを進めます。		きてみて住んで課 産業振興課		
12	10	★空き家・空き店舗を幅広く活用したまちづくりを進めます。	空き家・空き店舗年間助成数	きてみて住んで課
戦略2-14	空き家の利活用を図るため、主要構造部分または居住部分(トイレ、風呂、台所等)のリフォーム等の空き家改修費用の一部を助成する。		空き家改修年間助成数	きてみて住んで課

### 基本方針3 快適に暮らせる安全な社会をつくる

#### 政策8 施策② 防災・感染症対策の充実

基本構想との対応	P.9：近年、地震や台風をはじめとした大規模な自然災害が全国で頻発しており、防災・減災への意識が高まっています。 P.10：また、過去には大地震やひょう害などの自然災害が発生していることを踏まえ、安全・安心な暮らしを実現するためにも、日頃から備えるという意識を市民一人ひとりが持ち、地域における防災・防犯力の底上げに取り組む必要があります。			
ア 防災訓練や災害対策に関する情報提供、災害時要援護者の登録促進や防災リーダーの育成を図り、防災体制の強化に取り組みます。		危機管理課		
市民会議	空き家の放置は倒壊の危険や治安の悪化にもつながるため、計画的な対応策を検討してほしい。			
ワークショップ	加西市は今までに大きな災害がない分、危機意識が低いという課題がある。防災リーダーの育成が必要であると同時に、防犯の面では空き家が増加しており、事件、事故につながる可能性が考えられるため、子どもの安全の確保として、通学路や街灯の整備、子ども向けの防犯・防災の学習会の実施が必要だと感じる			
ワークショップ	防犯・防災は、地域のコミュニケーションやつながりが重要であるため、普段からのつきあいや、関わるのが大切だと思う。			
20	1	災害時要援護者の登録促進を図ります。	災害時要援護者台帳登録率	危機管理課
20	6	★老朽危険空き家問題に取り組む、安全安心のまちづくりを推進します。	老朽危険空き家所有者への年間助言・指導数	危機管理課
イ 自主防災組織の活動促進や地域の消防団への支援等、地域防災力の向上に努めます。		危機管理課		
20	2	北はりま消防組合との連携や自主防災組織、消防団を支援により強化し、地域防災力の向上に努めます。	防災訓練・研修年間開催数 資器材補助団体数	危機管理課
戦略4-16	「加西市消防団あり方検討委員会」の提言を踏まえ、常備消防との役割分担、女性団員等の参画強化など、消防団の運営方法の見直し等により団活動の活性化を図るほか、危険箇所や避難所等、防災情報の周知の充実とともに、自主防災組織による防災訓練の実施を促進させるよう支援し、地域で助け合う共助を推進する。		防災訓練・研修年間件数	危機管理課
ウ 関係機関との連携体制を強化し、情報共有及び感染症患者の入院受入体制の確保等に取り組みます。		加西病院		
新	新	※感染症への対策		加西病院

### 基本方針 3 快適に暮らせる安全な社会をつくる

#### 政策 8 施策③ 防犯・交通安全の向上

基本構想 との対応	P.9：また、自然災害だけでなく、子どもや高齢者を狙った犯罪の発生、感染症の流行、交通事故など、さまざまな分野における危険への意識も高まっており、危機管理体制の充実と、犯罪や事故のない安全な社会づくりが求められています。			
ア 防犯灯や防犯カメラなどの機器設置に加え、地域と連携した見守り体制の強化により、安全安心な地域づくりに取り組みます。		危機管理課		
ワーキング	加西市は今までに大きな災害がない分、危機意識が低いという課題がある。防災リーダーの育成が必要であると同時に、防犯の面では空き家が増加しており、事件、事故につながる可能性があると考えられるため、子どもの安全の確保として、通学路や街灯の整備、子ども向けの防犯・防災の学習会の実施が必要だと感じる【再掲】			
20	3	通学路防犯灯を増設し、児童の安全対策を図ります。	L E D防犯灯設置数	危機管理課
20	4	青色防犯パトロールによる巡回活動を充実します。	年間のパトロール実施回数	危機管理課
20	7	★防犯カメラの設置により、犯罪の未然防止に努めます。	防犯カメラ設置台数	危機管理課
イ 警察や交通安全協会等との連携により交通安全の啓発を進め、交通事故のないまちを目指します。		危機管理課		
20	5	警察や交通安全協会等との連携を強化し、免許返納制度を推進します。	高齢者における人身事故加害者率	危機管理課

### 基本方針3 快適に暮らせる安全な社会をつくる

#### 政策8 施策24 市民相談・消費者保護の充実

基本構想 との対応	P.9：子どもや高齢者を狙った犯罪の発生、感染症の流行、交通事故など、さまざまな分野における危険への意識も高まっており、危機管理体制の充実と、犯罪や事故のない安全な社会づくりが求められています。		
ア		市民の様々な悩みごとに対応するため、市民相談体制の充実を図ります。	ふるさと創造課
新	新	日常の困りごとや市の行政上の相談・苦情等について市民相談員が相談に応じます。	市民相談件数 ふるさと創造課
イ		複雑化する消費者被害を防止するため、消費者問題の啓発や情報提供に努めるとともに消費生活相談体制の充実を図ります。	ふるさと創造課
新	新	市民からの複雑・多様化する消費生活に関する相談に対応するため、相談員の専門的知識の向上や相談環境の充実に努めます。	消費生活相談件数 ふるさと創造課
新	新	市民が安心して消費生活を営めるよう、消費者被害を未然に防ぐため、出前講座など消費生活に関する啓発を進めます。	出前講座、啓発活動実施回数 ふるさと創造課

### 基本方針3 快適に暮らせる安全な社会をつくる

#### 政策9 施策⑤ 住環境の整備

基本構想との対応	P.7：地方における人口減少に歯止めをかけるため、全国の自治体で移住・定住の促進や交流人口の増加に向け、地域資源を活用しながらまちの魅力を上向き、広く発信する取組が進められています。		
ア 市街化区域内の未利用地の流動化や土地区画整理事業区域内の住宅化利用の促進を図ることにより、住宅地の供給に取り組むとともに、新たな住宅地の開発を支援します。 都市計画課			
ワークシヨップ	人口の増加をめざすには、企業の参入などによる就労の確保をはじめ、市街化区域など土地関係の法令の緩和や公共交通の整備、誰もが利用しやすい施設の整備などが必要であり、子育て世代、高齢者のみならず誰もが住みやすいまちづくりが求められる。		
12	1	市所有未利用地の住宅開発を促進するとともに、効果的な活用方法について検討します。	市所有未利用地の住宅開発年間箇所数 管財課
12	2	住宅供給会社等と連携し、土地区画整理事業済み地内の住宅化を促進支援します。	西高室地区区画整理事業により整備された住宅戸数 開発推進課
12	6	★新たな土地区画整理事業等を推進します。	新たな土地区画整理事業等の推進により確保した住宅戸数 都市計画課
12	7	★市街化区域において土地利用を推進し、住宅地等の整備と確保に努めます。	宅地供給促進補助制度を活用した宅地供給面積 人口増政策課
12	8	★市街化区域での低未利用地の利用促進による土地の流動化を図り、住宅地の供給量を確保します。	
12	9	★賃貸共同住宅の建設促進による供給戸数の増加を図ります。	賃貸共同住宅等建設促進補助制度を活用した賃貸供給戸数 大目増政策課
12	11	★住環境整備による定住促進を図ります。	北条市街地の住環境整備を図った住宅戸数 都市計画課
13	6	住民が住まい物件の情報を適切に得られるよう、不動産情報の発信や各種制度の周知に努めます。	市街化調整区域における新築住宅戸数 都市計画課
13	7	★若者世帯が住みやすい住宅分譲地の整備を進めます。	住宅分譲地の整備により確保した住宅戸数 都市計画課
戦略3-24	中野地区の市街化区域において、地域と協働し、商業施設・事業所・住宅地がコンパクトに集積する良好なまちづくりを推進する。		住宅戸数 事業所立地数 都市計画課
戦略3-26	賃貸共同住宅を建設した者に対し当該建物に係る固定資産・都市計画税相当額を5年間補助する。(単身向け賃貸共同住宅に限り10年間補助)		賃貸供給戸数 人口増政策課
戦略3-28	市街化区域内の有効な土地利用を図るため、土地区画整理事業を実施した土地の住宅地化を促進する。		住宅戸数 都市計画課
イ 市街化調整区域における特別指定区域制度の活用や線引きの見直し等、規制緩和に向けた働きかけにより地域の活力再生を図ります。 都市計画課			
団体ヒアリング	市街化区域の拡大や積極的な小規模開発の推進。		
13	2	県の特別指定区域制度における「新規居住者の住宅区域」の地区指定を支援します。	新規居住者地区住宅戸数 都市計画課
戦略3-23	各小学校区のコミュニティを維持するため、市街化調整区域内においては地区計画、特別指定区域制度等を活用し、若者世帯が住みやすい未来指向型スマートタウンとなる住宅分譲地整備を支援する。また、遊休地等を活用した各地域での数戸程度のミニ住宅団地造成についても支援する。		住宅戸数 都市計画課
ウ 北条市街地の空き家対策と狭あい道路の整備を行い、住環境整備による定住促進を図ります。 都市計画課			
戦略2-17	北条市街地の空き家対策と狭あい道路の整備を行い、住環境整備による定住促進を図る。		住宅戸数 都市計画課
エ 高齢化にも対応した住環境づくりに向けて、関係機関とも連携しながらユニバーサルデザインに基づくまちづくりを推進します。 福祉企画課			
新	新	※ユニバーサルデザインに基づくまちづくりに関する取り組み	福祉企画課

### 基本方針3 快適に暮らせる安全な社会をつくる

#### 政策9 施策26 歴史と自然に恵まれた景観の保全

基本構想 との対応	P.7：移住・定住の促進や交流人口の増加に向け、地域資源を活用しながらまちの魅力を向上し、広く発信する取組が進められています。			
ア 地域住民と行政の協働により、北条旧市街地の歴史的街並みなど景観の保全に努めます。			都市計画課	
12	3	北条地区(旧市街地)の街道筋で、歴史的な街並みを残している区域について、地域住民と行政の協働で、県の景観形成地区や文化財の指定を受け、規制、誘導方策によって旧市街地の歴史的街並みを継承、保全します。	景観形成に関する条例届出年間受付件数 景観形成支援事業修景助成金年間交付件数	都市計画課
23	3	広告物の表示については、景観との調和に努めます。	屋外広告物手続き件数	都市計画課
戦略2-13	加西市の顔であり中心市街地である北条旧市街地の賑わいづくりと、町なが居住の推進のため、地域の歴史文化資源である空き家等を活用し起業する者に改修助成を含めた支援を行う。		空き家・空き店舗年間助成数	きてみて住んで課
イ 田園・ため池・森林など豊かな緑と調和した景観の保全に努めます。			都市計画課	
市民提言	加西の良いところは自然がまだまだ残っている所で、そこを活かして大切に守り残してほしい。例えば、あびき温泉も、広く知られたばかりに残されなくなってしまうこともあり得るので、人数や開放時期の制限など行い、守っていくことを優先にした方がいいと思う。			
23	4	開発調整条例に基づく景観に配慮した適正な土地利用を推進します。	開発調整条例に基づく事前協議件数	都市計画課
23	5	花咲くまちづくりを推進します。	住民ボランティアによる植栽ポット数	都市計画課

### 基本方針 3 快適に暮らせる安全な社会をつくる

#### 政策 9 施策 ⑦ 地球に優しい環境都市の創造

基本構想との対応	<p>P.11：郷土文化継承と環境保全を組み合わせた自然体験・環境学習の実施など、市民に向けた啓発の実施にも注力し、全市的な環境保全に取り組むことが重要です。</p> <p>P.19：ゴミ減量やリサイクルに対する意識は市民に浸透してきており、今後も引き続き啓発に取り組むことが重要となっています。</p> <p>環境保全に対する意識啓発手段として、小中で環境学習に取り組むことが求められます。また、地域人材の発掘も進めながら、さらに充実した環境体験学習の実施を目指していきます。</p> <p>里山の保全については、関係団体とも連携しながら、今後も継続して啓発と保全を進めていくことが求められます。</p>			
ア 生物多様性に育まれた自然環境づくりを実現しつつ、地球環境に配慮した循環型かつ低炭素社会の構築を推進します。				環境課
団体とアリアガ	近年ごみのポイ捨てがひどくなっているように思うので、ごみの不法投棄に対する意識改革をしてほしい。			
22	2	企業や都市住民を募り、里山ふれあいの森、企業の森として都市部との相互交流を進めます。	企業の森面積	農政課
22	3	市内の自然環境に生息する多様な生物を調査、把握し、保全、回復と利活用を推進します。	兵庫県立人と自然の博物館と連携した普及啓発事業の参加人数	環境課
24	1	公共施設の新築、改築の計画、設計等に省エネルギー基準やガイドラインを設け、適用します。	市庁舎の電気使用量	環境課
24	2	民間による環境技術、新製品研究開発及び環境産業を行うための施設整備への助成、融資を行います。	グリーンハウス建築促進補助金受付件数	都市計画課
24	3	住宅用太陽光発電システム、電気自動車、蓄電池等の導入を促進支援します。	加西市内の太陽光発電導入容量	環境課
26	1	レジ袋の有料化や無料配布の中止、グリーンコンシューマーを推奨する事業者の割合を増やします。	レジ袋削減協力事業者数	環境課
26	2	ごみの分別（現23分類）、リサイクルを推進し、ゴミ処理の効率化、適正化を進めます。	住民1人1日あたりのゴミ排出量 ゴミのリサイクル率	環境課
26	3	剪定枝や廃食用油等のバイオマス資源を回収し、薬用ハンドソープやリサイクル堆肥等の原料として有効活用を推進します。	廃食用油の回収量	環境課
26	4	美バースへの補助金を継続します。	資源物集団回収登録団体による年間回収量	環境課
27	4	環境に配慮したまちづくりに資するテーマで、住民や小学生を対象に、定期的な学習会を開催します。	I S O 14001、エコアクション21取得企業団体数	環境課
イ 加西の風土や文化を活かした環境学習を実施し、自然の大切さの理解を深めます。				学校教育課 生涯学習課
ワークショップ	加西市の身近にある資源や環境を活用しながら、自然を大切に、美しい自然を残すための教育が必要と思う。里山でのイベント・体験プログラム等があると、自然とふれあうことで子どもたちが成長したときに、環境の維持について真剣に考える下地ができることにつながるのではないか。また、世代間交流による自然の美しさ、大切さを継承するなど、地域の活動が環境維持に役立ち、そのような取組等を行政が支援できると良いと思う。			
市民会議	環境課と教育委員会、生涯学習課で連携して事業を実施してはどうか。			
05	4	加西の風土、文化、自然を活かした環境教育カリキュラムの実施や関係団体との連携を深めていきます。	小中学校での体験型環境教育の年間時間数	学校教育課
27	3	様々な組織や団体により取り組まれた環境学習のノウハウを他の学校や団体が活用できるよう支援します。	環境学習実施学校数	学校教育課
27	5	教員を対象とした環境学習に関する研修を実施します。	教員を対象とした環境学習に関する研修の年間開催数	学校教育課 総合教育センター
27	1	親子で参加できる環境学習を推進します。	公民館におけるこども環境学習の受講者数	生涯学習課
27	2	環境学習リーダーを養成し、その活動を推進します。	公民館における環境学習リーダー養成講座の受講者数	生涯学習課

### 基本方針3 快適に暮らせる安全な社会をつくる

#### 政策10 施策⑧ 道路・河川の整備

基本構想 との対応	P.9：近年、地震や台風をはじめとした大規模な自然災害が全国で頻発しており、防災・減災への意識が高まっています。 P.12：兵庫県や全国平均よりも高齢化率の高い本市～			
ア 国道372号や主要幹線道をはじめとする道路網を整備するとともに、通学路・ガードレール等の安全施設の整備を行います。			土木課	
市民会議	基幹道路整備について進捗状況が悪く、国の予算次第の部分もあると思うが、長期間を要している基幹道路整備の残り部分の早期完成をお願いしたい。			
市民会議	透水性舗装の実施について、達成率が低い理由が明確ではない。道路関係の事業は、計画どおりに進まない場合が多々あるため目標の設定が難しいが、次期計画策定時には注意が必要である。			
15	3	国道372号や主要幹線道をはじめとする道路網を整備します。	基幹道路網の整備延長距離 集落道路の改良延長距離	土木課
15	4	歩行者道、自転車レーンやガードレール等の安全施設の整備を行います。	歩道設置総延長	土木課
15	5	道路橋の長寿命化計画を作成して計画的な維持補修を行います。	修繕工事を実施する橋梁数	土木課
15	7	道路施設の計画的な維持補修を行います。	修繕工事を実施する個所数	土木課
25	5	公道の透水性舗装を推進します。	透水性舗装の実施	土木課
戦略4-02	地域の生活や産業を支える基盤となっている、基幹道路網の整備、集落道路の改良のほか、サイクリングの普及に対応して自転車道の整備を推進する。		基幹道路網の整備延長距離 集落道路の改良延長距離	土木課
イ 河川や橋梁の維持管理の強化及び未改修河川の整備を進めます。			土木課	
15	6	河川の維持管理の強化と未改修河川を整備します。	河川修繕工事及び河川浚渫の実施	土木課
ウ 都市公園等の計画的な管理と保全により、活用を促進します。			都市計画課	
15	1	都市公園等の計画的な管理と保全により、活用を促進します。	都市公園利用者数	都市計画課

### 基本方針3 快適に暮らせる安全な社会をつくる

#### 政策10 施策⑨ 上下水道の整備

基本構想との対応		P16：地方自治体の持続可能性を確保するために、より効率的な行財政運営が求められており、行財政改革や自治体間の連携などを進め、限られた資源を有効に活用する取組が必要		
ア 上下水道事業の効率化、安定化、適正化を進め、持続可能な経営を行います。				上下水道管理課
25	2	下水道の接続促進や合併浄化槽の普及を促進し、水洗化率を高めます。	水洗化率	上下水道管理課
25	4	企業努力による上下水道事業の効率化、安定化、適正化を進め、持続可能な経営を行います。	給水原価	上下水道管理課
イ 上下水道施設の計画的な整備・改修と施設の統廃合を進め、安全な水の供給と安定的な下水処理に努めます。				上下水道課
25	1	鴨谷配水池の供用による既存施設の統廃合を実施し、水道施設の整備、更新費用の平準化を図り、計画的に事業を進めます。	水道管路耐震化率	上下水道課
25	3	効率的な生活排水処理計画とし、計画的な施設の統廃合や改修を行います。	統合施設数	上下水道課

### 基本方針3 快適に暮らせる安全な社会をつくる

#### 政策10 施策⑩ 公共交通の充実

基本構想との対応	P.18：安全かつ快適な都市環境を構築するために、空き家対策や公共交通の充実も求められています。		
ア	地域の実情に応じた道路交通網の整備や公共交通の導入等を通じて、利便性の高い生活ネットワークを構築します。また、配慮を必要とする方への公共交通利用に関する支援や、わかりやすい情報提供にも取り組みます。		人口増政策課
市民会議	通学での利用客が減少傾向にあるため、対応策を検討する必要があるが、妊婦及び未就学の子どもの保護者について、コミュニティバスの運賃を無料化したことにより、利用客が増加したことは良い傾向であるので、継続して推進し利用者を増やしてほしい。		
市民会議	地域間でバスの路線が多い地域と少ない地域の格差がみられる。		
市民提言	高齢になったら不便になると思うのは交通の便。家から唯一の交通手段のレールバスまでが少し遠く、タクシーを手軽に利用できるようになればと思う。（例えば1ヶ月に～円までの補助など）。レールバスの利用をもっと伸ばすためにも、高齢者（70歳以上）は無料（または半額）などできないか。		
14	1	都市核と地域核を結び市内幹線路線の効率化を図ります。	コミバス等の年間利用者数 北条鉄道の年間利用者数 人口増政策課？
14	2 6 9	市内幹線交通網へ接続する地域主体型公共交通の導入を進めます。 交通結節点（駅・バス停）の整備を進めます。 ★北条鉄道各駅へのアクセスの改善を図るため、コミュニティバスの再編等を実施し、公共交通ネットワークを構築します。	コミバス等の年間利用者数 北条鉄道の年間利用者数 人口増政策課
14	4	公共交通のわかりやすい情報提供に努めるとともに、利用促進を図ります。	コミバス等の年間利用者数 北条鉄道の年間利用者数 人口増政策課
イ	利便性の高い利用環境を確保するため、北条鉄道の経営支援と利用促進策を実施します。		人口増政策課
14	5	北条鉄道の経営支援と利用促進策を実施します。	北条鉄道の年間利用者数 人口増政策課
戦略4-01	北条鉄道各駅へのアクセスをコミュニティバス等で確保し、公共交通ネットワークを構築する。利便性を高めるため、コミュニティバス等の運賃割引等利用促進策を講じるとともに、列車増発可能な設備等の拡充を図る。		北条鉄道年間輸送人員数 人口増政策課
ウ	高速バスの増便やバス停周辺の整備等を推進し、利用しやすい環境づくりに取り組みます。		人口増政策課
14	3	民間事業者が運行する広域幹線路線バスを維持します。	コミバス等の年間利用者数 人口増政策課
14	7 8	自動車を気軽に利用できない人の移動にかかる運賃軽減を実施します。 ★子育て世帯等の移動手段を確保するため、妊婦及び未就学の子どもの保護者について、コミュニティバスの運賃を無料化します。	コミバス等の年間利用者数 北条鉄道の年間利用者数 人口増政策課
戦略4-03	公共交通アクセスの利用が不便な地域の解消に向けて、地域主体型交通の検討や接続改善等、地域の実情に応じた一層利用しやすい路線網や運営方式に工夫するとともに、75歳以上、中学生以下のコミュニティバス利用料金無料化や運賃の一律化を図る。		コミバス年間利用者数 人口増政策課